本　会　記　事

会　　告　2027年会費納入のご案内 ……794
シニア会員制度・終身会員制度の申請受付のご案内 ……794
今後の講演大会開催予定 ……794
講演大会分野(分科)改編のお知らせ(改訂版) ……795
2027年春期(第180回)講演大会参加および講演申込について ……796
2027年春期講演大会「高校生ポスター発表」募集案内 ……807
2027年春期講演大会日本金属学会・日本鉄鋼協会合同懇親会開催・参加募集案内 ……808
2027年春期講演大会国外研究者特別講演・国外研究者招待講演推薦募集 ……809
日本金属学会オンライン教育講座およびオンデマンド配信オンライン教育講座のご案内 ……810
日本金属学会オンライン教育講座「基礎シリーズ」新規開講のご案内 ……814

支部行事 ……815　行事カレンダー ……819
掲示板 ……816　次号予告 ……821
会誌・欧文誌11号目次 ……818　新入会員 ……822

◎本会へのお問合せは下記URLをご利用下さい。
https://jimm.jp/contact/

- 投稿規程・出版案内・入会申込はホームページをご利用下さい.
- 支部行事，掲示板，研究集会等の情報は，ホームページにも掲載をしております.

会　告(ホームページもご参照下さい)

2027年会費納入のご案内

2027年の会費納入時期となりました．個人会員の皆様には，2026年12月25日(金)までに，下記のいずれかの方法にてお手続き下さいますようお願い申し上げます.

※但し，春期大会への講演申込をご希望の方は，お早目にご入金下さい．未入金の場合，非会員参加費が計上される恐れがあります.

なお，昨年より通信経費削減のため，従来の郵送によるご請求案内を廃止し，電子メールにてご案内をしております．会員の皆様にはご不便をおかけいたしますが，何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます.

会費の納入は，会員マイページからお手続き下さい．トップ画面の「請求/入金情報」欄に会費請求情報が表示されている場合は，支払い方法をご確認のうえ「支払う」ボタンを押して手続きを行って下さい．支払い方法の変更も可能です．操作方法の詳細は，マイページのヘルプ(https://atlas-team.notion.site/smoosy-apass-mypagehelp)をご参照下さい.

年会費の納入方法

1. **クレジットカード(１回払い)**
   カード情報を入力するだけで簡単に決済できます．**本会ではクレジットカードでの決済を推奨しております.**
2. **銀行振込(バンクチェック)**
   マイページで受付後，りそな銀行の振込先口座がメールで届きます．発行された口座に対し，銀行窓口・ATM・ネットバンキングなど任意の方法でお振込み下さい.
3. **コンビニ決済**
   マイページで受付後，コンビニ決済情報がメールで届きます．受付時に指定したコンビニエンスストアにてお支払い下さい．※受付後２週間以内にお支払いをお願いいたします.

問合先　(公社)日本金属学会　会員サービス係
☎ 022-223-3685　E-mail: member@jimm.jp

シニア会員制度・終身会員制度の申請受付のご案内

本年度のシニア会員制度，終身会員制度の締切日は，2026年11月20日(金)です．申請を希望される方は，以下のいずれかをご確認のうえ，期限内に事務局までお知らせ下さい.

- 「まてりあ」65巻９号会告
- 本会ホームページ「入会案内」→「会員種別」

連絡先：(公社)日本金属学会　会員サービス係
E-mail: member@jimm.jp

今後の講演大会開催予定

- 2027年春期(第180回)
  日程：2027年３月８日(月)～10日(水)
  会場：東京科学大学大岡山キャンパス
  (本号会告)

- 2027年秋期(第181回)
  日程：2027年９月22日(水)～24日(金)
  会場：広島大学東広島キャンパス
  (66巻５号会告予定)

©2026 The Japan Institute of Metals and Materials

講演大会分野(分科)改編のお知らせ(改訂版)

2026年11月1日
講演大会委員会委員長　安田　弘行

本誌9号において2027年度から講演大会分野(分科)を9分野体制から11分野体制に改編する旨をお知らせしておりましたが，本年9月22日開催の講演大会委員会での協議の結果，最終的に下記の分野名での体制となりましたので，お知らせ申し上げます.

2027年春期講演大会から，再編された分野(分科)で募集をいたします.

新11分野体制

新分野(分科)体制	
第1分野(分科)	1. 材料と社会 12. 先進機能材料
第2分野(分科)	2. 材料物性
第3分野(分科)	3. 材料組織
第4分野(分科)	4. 力学特性
第5分野(分科)	5. 材料化学
第6分野(分科)	6. 材料プロセシング
第7分野(分科)	7. 生体・医療・福祉
第8分野(分科)	8. 構造材料
第9分野(分科)	9. 電気・磁気関連材料
第10分野(分科)	10. エネルギー関連材料
第11分野(分科)	11. 人工知能(AI)・マテリアルズインフォマティクス(MI)

※詳細は本号803頁をご覧下さい.

◇　　◇　　◇

©2026 The Japan Institute of Metals and Materials

2027年春期(第180回)講演大会参加および講演申込について

2027年春期講演大会を，3月8日(月)から10日(水)まで，東京科学大学大岡山キャンパスで開催します．
高校生ポスターセッションは，3月8日の現地開催のみとなります．
参加申込みは，すべてインターネットでの申込みです．詳細は，下記参加申込要領をご確認下さい．

新規入会で講演申込をされる方は，入会までに時間を要しますので，ご注意下さい．
(入会申請から入会認証～参加・講演申込まで最短で5営業日必要です．入会締め切り期日は12月15日(火)です，ご注意下さい．)
春期講演大会での講演を予定されている会員の皆様は，講演申し込み締め切り日の前日の12月21日(月)までに2027年度の年会費の支払いをお済ませ下さい．お支払いいただけない場合は，非会員価格での申し込みとなりますのでご注意下さい．

～ 講演大会日程 ～

日　　時	行　　事
3月8日(月)	
9:00～ 9:40	開会の辞，贈呈式
午後(予定)	ポスターセッション，高校生ポスターセッション
10:00～17:00	シンポジウム講演(一般講演は行いません)
18:00～20:00	懇親会
3月9日(火)	
9:00～18:00	学術講演
3月10日(水)	
9:00～17:00	学術講演

◆日本鉄鋼協会・日本金属学会合同懇親会
開催日時：2027年3月8日(月)18：00～20：00(予定)
開催場所：東京科学大学大岡山キャンパス　つばめテラス
申込詳細：別途案内808ページをご参照下さい．

講演大会参加申込

◆申込の種別と申込期間
(注意1：会員の方で，本年度および2027年度の会費未納の方は会員価格での申込ができません．)
(注意2：締切日までに入金がない場合は，キャンセル扱いとなります．)

1)　事前申込(2月19日(金)の参加費納付をもって事前参加申込完了となります．)
申込期間：2026年11月17日(火)～2027年2月19日(金)

2)　後期(当日)申込
申込期間：2027年2月20日(土)～3月10日(水)

3)　相互聴講(鉄鋼協会参加者　現地申込のみ)
申込期間：2027年3月8日(月)～3月10日(水)

◆申込サイト：https://jimm.smoosy.atlas.jp/mypage/login(A-pass作成またはログイン後，申込開始．)
＊注意：会員の方は，年会費納入が完了していないと申込ができません．

◆決済方法：クレジットカード，銀行振込

問合せ先　講演大会係　annualm@jimm.jp

©2026 The Japan Institute of Metals and Materials

◆大会参加費(講演概要ダウンロード権含む)および登壇費　※年会費とは異なります.

会　員　資　格	事前参加申込(2027年2月19日まで)	後期(当日)申込(2027年2月20日～3月10日)	相互聴講(会期中のみ)	登壇費
正員	15,000円	18,000円	—	—
非会員の維持員会社社員	15,000円	18,000円	—	10,000円
非会員のシンポジウム共催・協賛の学協会会員	15,000円	18,000円	—	10,000円
2027年3月1日時点で65歳以上の個人会員*1	無　料	無　料	—	—
学生員*2	6,000円	7,000円	—	—
ユース会員*3(中高生会員，高専専科1年生以下，大学3年生以下)	無　料	無　料	—	5,000円*3
非会員*4　一般	29,000円	32,000円	—	10,000円
非会員*4　学生(大学院生含む)	14,000円	16,000円	—	5,000円
鉄鋼協会講演大会参加者(一般学生問わず) **講演者は選択できません.**	—	—	6,000円	—

参加費・懇親会の消費税の取扱いは，ホームページ(一覧表PDF)をご参照下さい.

・お支払後の取消は，ご返金できませんのでご了承下さい.
・期日までにお支払いを確認できない場合は，キャンセルとさせて頂きます.
・領収書は，決済完了後に申込画面(「講演大会 MyPage」)からダウンロードし，印刷して下さい.

*1 **65歳以上の個人会員**：会員情報に生年月日の登録がない場合は課金されます．会員情報に生年月日を登録していない方は，**参加申込みの前に annualm@jimm.jp** まで会員番号・氏名・連絡先・生年月日をお知らせ下さい.

*2 学生員：卒業予定変更等により登録されている会員種別が実際と異なる場合は，**事前に会員種別の変更手続きを行ってから**，大会参加を申込み下さい．会員情報に登録された卒業年次を超えると，自動で正員に変更されています.

*3 **ユース会員が高校生ポスター発表以外で発表する場合は，登壇費5,000円が必要です.**

*4 非会員の参加申込者には，春期大会への参加の場合は，当該年の3月から翌年2月末まで，秋期大会への参加の場合は，当該年の9月から翌年8月末までの1年間会員資格を付与します．ただし特典は重複して付与しません.

◆参加証

「**講演大会 MyPage**」で「参加証」を印刷し，当日持参して会場に入って下さい(受付は不要です).

*「参加証ケース」をお持ちの方はご持参下さい．ケースが必要な方には受付で配布します.

◆講演概要の閲覧・ダウンロード

公開場所：講演大会ウエブサイト(ログイン必要)

公開日：大会2週間前の**2027年2月22日(月)**(特許関係の手続きは，公開日までに済ませて下さい.)

概要閲覧方法：参加費決済を完了後，「A-Pass」でログインしていただくことで，参加者限定ページをご覧いただけます.

◆講演概要集の購入

講演概要集は作成していません．全ての講演概要は，講演大会ポータルサイトで公開をします．これまで概要集のみを購入されていた場合は，大会への参加登録をして，講演大会ウエブサイトから概要を閲覧して下さい.

◆相互聴講申込

鉄鋼協会の講演大会に参加された方は，相互聴講料金で本会の講演大会を聴講できます.

申込資格：日本鉄鋼協会に参加登録された方.(会員資格問わず)

申込方法：講演大会当日に鉄鋼協会講演会場の受付で参加証を受け取った後に，金属学会相互聴講申込サイトで申込みおよび決済完了後，決済済み画面と鉄鋼協会講演大会の参加証を日本金属学会受付に提示して下さい．確認後，参加証に「相互聴講」の押印をします.

(注)鉄鋼協会講演大会の相互聴講は，金属学会の講演大会参加申込を完了した後，鉄鋼協会の相互聴講申込サイトで相互聴講の申込みと決済を行って下さい.(詳細は鉄鋼協会へお問い合わせ下さい.)

©2026 The Japan Institute of Metals and Materials

講　演　申　込

＊講演申込の前に年会費納入および講演大会参加申込が必要です．

◆申込期間（締切厳守！）

1）　一般，公募シンポジウム，共同セッション，ポスターセッション：**2026年11月17日（火）～12月22日（火）**

2）　高校生ポスター：**2026年11月17日（火）～12月25日（金）**

◆申込サイト

一般，公募シンポジウム，共同セッション，ポスターセッション：

https://jimm.smoosy.atlas.jp/mypage/login（A–pass 作成またはログイン後，申込開始．）

高校生ポスター：https://data.jimm.jp/jim/pos/

講演を申込む前に下記を確認して下さい

□非会員も大会参加費と登壇費を支払えば，講演申込ができる（詳細は「講演申込要領」の「講演資格」参照．）．

□講演申込と同時に大会参加申込が必要．参加申込後，期日までに参加費と非会員（個人会員でない方含む）は登壇費を納入する．期日までに参加費を納入しない場合は講演を認めず，欠講として取り扱う．

□講演申込と講演概要提出は同時に行うこと．（同時に行わないと，講演申込は受理されません）

□原則，講演申込者＝講演発表者であること．

□**締め切りまでに「投稿完了」せず，受理番号が発行されていない登録は未受理となる．**

これから入会して講演申込をする方へ（入会申請から参加・講演申込まで最短で 5 営業日必要です．ご注意下さい．）

入会期日以降の講演申込の為の新規入会は受付できません（入会承認が間に合いません）のでご注意下さい．また，**年会費の納入を完了しないと参加申込や講演申込ができません**のでご注意下さい．

〈入会までの流れ〉

① 入会申請（申請者）
入会申込画面（https://jimm.smoosy.atlas.jp/admission/agreement）にて入会申請を行う．
（参照：https://atlas–team.notion.site/smoosy–apass–applicationhelp–howtoapplyformembership）

② 入会申請を承ったメール配信（事務局→申請者）（1 営業日程度）

③ 会費支払いについての案内メール配信（事務局→申請者）（2 営業日程度）

④ 会費支払い（申請者）
※注意：年会費の支払いが遅れますと，入会認証が遅くなりますので，お早めにお支払い下さい．

⑤ 入金確認および入会承認メール配信（事務局→申請者）（年会費納入確認後，2 営業日程度）
※ここで初めて入会完了となります．

⑥ 会員マイページから講演大会の参加登録，講演申込を行う．
※会費納入が完了しないと，講演大会参加登録ができません．（参加登録をしないと，講演申込ができません．）

入会申込期限：**2026年12月15日（火）**（期日厳守！以降は講演申込の為の新規入会受付対応できかねます．）

※春期大会講演希望の方：申込当該年12月 1 か月分と翌年の年会費のお支払いが必要です．

※秋期大会講演希望の方：申込当該年 6 月からの会費が必要です．

入会・会費の問合せ先：会員サービス係　member@jimm.jp

既に会員の方

① A–Pass にて講演大会登録サイト（https://jimm.smoosy.atlas.jp/mypage/login）にログイン．マイページの講演大会「演題・参加登録サイト」のリンクから申込を行う．
（会員マイページアクセス方法はこちらをご参照下さい．https://jimm.jp/member/info_516.html）

② まず参加登録を先に行う．**（注意：会費未納の場合，会員価格での参加申込できません．）**

③ 参加登録完了後，演題登録を行う．講演申込み画面に必要事項を入力し，講演概要の pdf をアップロードする．
＊申込みの前に，講演概要を作成しておいて下さい．
（登録に関する参考サイト：https://atlas–team.notion.site/33be2c48d9434decb7c0373777f15579）

④ 内容を確認し，必要があれば修正し，講演を登録する．

⑤ 申込が完了すると，受付完了通知がメールで届く．

⑥ 参加費および登壇料のお支払いはでクレジットカード，銀行振込が可能です．

⑦ 会員マイページの講演大会「演題・参加登録サイト」にて請求書や領収書，参加証のダウンロード印刷が可能です．

本 会 記 事
©2026 The Japan Institute of Metals and Materials

非会員(個人会員ではない)として登録される方

① A-Pass を作成する(お持ちの方はログインする). URL: https://jimm.smoosy.atlas.jp/mypage/login
非会員としてプロフィール登録などを行う.



(参照：https://atlas-team.notion.site/A-Pass-Confit-1ca820a9dc77804994b6d72a4178fc82)

② 以降は 既に会員 の方と同じ.

講 演 申 込 要 領

◆講演概要：演題登録画面から最新の MS-Word のテンプレートをダウンロードして作成すること.
分量は A4 縦 1 頁とする.
作成後にフォント埋め込みの pdf に変換して，アップロードする.

◆講演件数：一人 2 件以内. ただしポスターのみ 2 件は不可.
(受賞講演，基調講演，招待講演等の特殊講演は上記の適用外)
同一研究室の 3 件以上の連続講演は不可.

◆講演時間：一般講演：講演10分，討論 5 分
公募シンポジウム：講演10～20分，討論 5～10分
共同セッション：講演15分，討論 5 分
(講演時間は講演者自身が管理し，厳守すること.)

1. 発表内容
原則として未発表で講演としてまとまったもの.

2. 講演資格
会員は年会費および参加費を，非会員は参加費および登壇費を納入済であること.

3. 講演者変更・講演取消・無断欠講について
(1) 申込後の安易な講演者変更や取り消しは認めない.
(2) やむを得ない理由により講演を取り消す場合は，必ず事前に事務局に連絡する.
連絡なく当日欠講(無断欠講)が判明した場合は，WEB プログラムを「No-Show 欠講」とし，以後の講演申込を受付できない場合がある.
(3) やむを得ない理由により講演者を変更する場合は，事前に事務局に連絡する.(当日，変更になる場合は必ず座長の了解を得ること.)
(4) 変更可能な講演者は概要の共著者でかつ会員であること.

4. 連続講演
下記の条件を全て満たす場合のみ配慮するが，希望に添えない場合があることを承諾すること.
(1) 同一のセッション名で講演申込されていること.
(2) 講演申込時に備考欄に連続希望する講演の順番，発表者名，タイトル，(可能なら受理番号)を記入していること.
(3) 申込締め切後の申請でないこと.
(4) 同一研究室内で 3 件以上の連続講演でないこと.

5. 講演日の希望
講演申込時に備考欄に記入すること.
申込締め切後は受付けない.
希望に添えない場合があることを承諾すること.

6. プログラム
プログラムは，2 月初旬に2027年春期講演大会ポータルサイトに掲載予定です.

©2026 The Japan Institute of Metals and Materials

ポスターセッション

1. 発表方法：2 月にホームページに掲載する最新の「ポスター発表資料作成要領」を参照のこと．
2. 優秀ポスター賞へのエントリー：講演申し込み時に「優秀ポスター賞にエントリーする」にチェックして下さい．
3. 優秀ポスター賞の授賞要件：①発表時点で30歳以下の学生および30歳以下の若手研究者．
   ②過去にこの賞を授賞していない者．
   ③代理発表者ではないこと．
4. ポスター賞の選考：①講演概要査読(1 次審査)および当日発表審査(2 次審査)で行う．
   ②概要の要件および査読基準
   概要中に以下の項目が読者に分かるように明確に記載されていること．
   ①研究の位置づけと目標，それらの重要性・新規性・独創性・発展性
   ②研究目的
   ③実験方法およびその妥当性
   ④結果(および考察)の論理構成
   ⑤結果(および考察)の新規性・発展性・重要性

＊発表を審査員が審査採点して優秀ポスターを選出し，「優秀ポスター賞」を贈呈します．

公募シンポジウム

2027年春期講演大会では下記の公募シンポジウムを実施いたします．別紙のテーマ要旨を参照の上，お申し込み下さい．
また，「公募シンポジウム優秀口頭発表賞」を実施いたします．下記の要領を参照し，ご応募下さい．

1. 口頭発表賞選考対象テーマ：代表責任者が優秀口頭発表賞実施を承諾したテーマ(下記一覧参照)

公募シンポジウムテーマ	口頭発表賞の実施有無
S1　データ創出・活用による磁性材料の研究開発Ⅳ	有
S2　特異反応場における時間/空間応答を利用した新奇材料構造創成Ⅹ	有

2. 口頭発表賞へのエントリー：講演申し込み時に「公募シンポジウム優秀口頭発表賞にエントリーする」にチェックする
3. 口頭発表賞の授賞要件：①発表時点で30歳以下の学生限定　②過去にこの賞を受賞していない者　③代理発表者ではないこと　④1 テーマ 5 件以上のエントリーがあった場合のみ選考対象とする
4. 賞の選考：当日発表による審査で①論理構成の的確さ，②発表の分かり易さ，③質疑応答の適切さを評価し，総合評価する．
5. 授賞発表：講演大会終了後，2 週間程度で授賞者へ通知予定．後日，賞状を郵送する．

日本鉄鋼協会との共同セッション

日本金属学会と日本鉄鋼協会とは下記の共同セッションを実施する．
日本金属学会，日本金属学会のいずれかの講演大会に参加申込した方は聴講可能．

① 「チタン・チタン合金」　　(2027年春の会場は日本鉄鋼協会会場)
② 「高温溶融体の物理化学的性質」(2027年春の会場は日本金属学会会場)

なお，共同セッションに講演申込をされる方は，鉄鋼協会の概要集「材料とプロセス」の他，鉄鋼協会の大会ポータルサイトでの講演概要公開に同意下さい．

◇　　◇　　◇

©2026 The Japan Institute of Metals and Materials

講演概要原稿作成・投稿方法

- 演題登録サイトから最新のテンプレート(**MS-Word**)をダウンロードして下さい.
- ダウンロードしたテンプレートを用いて講演概要を作成して下さい.
- 講演の題名，著者・所属，本文のすべてを記入した完成版の講演概要ファイルを **PDF** に変換して下さい.
- 講演申込と同時に **PDF** ファイルをアップロードして，講演概要を提出して下さい.（※同時に行わない場合は，講演申込は受理されません）
- 使用言語：日本語または英語
- 原稿サイズ：**A4** 判縦１頁
- 原稿作成時の注意事項：
  ⑴ **MS-Word** のファイルを **PDF** に変換する際は，フォント埋め込みを必ず行うこと.
  ⑵ 発表者氏名の前に必ず○印を付けること(申込画面上で講演者にチェックを入れる).
  ⑶ アップロードの前に文字，図表等の品質を確認してから，アップロードすること.
- 提出原稿の修正：講演申込期間内のみ差し替えが可能．原則として提出期限後の原稿の差替えは認めない.

講演概要の要件と査読

講演大会に投稿された全ての講演概要は，下記の査読基準に基づき，その分野の専門家が査読し，採否を判定する．査読の結果,「掲載不適当」と判定された場合は，理由を示して著者に返却いたします.

(講演概要の要件および査読基準)

⑴ 概要のテンプレートに基づいた概要であること.
⑵ 講演内容を的確に表す題目であること.
　好ましくない題目例：○○に関する研究，○○○○について
⑶ 未発表であること.
⑷ 金属およびその関連材料の学術および科学技術の発展に寄与するものであること.
⑸ 内容に誤りがないこと.
⑹ 研究不正行為または不適切行為に該当する内容を含まないこと.
⑺ 宣伝や営利目的，軍事目的の内容を含まないこと.
⑻ 誹謗中傷に類する内容を含まないこと.

◇　　◇　　◇

©2026 The Japan Institute of Metals and Materials

講演申込・概要原稿提出手順

入力された情報および登録された概要原稿は，プログラムにそのまま反映されますので，お間違えのないようにご登録下さい．
＊申込者は，講演者本人に限ります．
＊申込締め切直前はアクセスが集中してサーバーに負荷がかかり遅れが生じることもございますので，早めにお申込み下さい．

〈講演内容の確認・修正〉

講演申込期間内のみ，登録内容の確認と修正(差し替え)が可能です．
会員マイページの講演大会「演題・参加登録サイト」から，内容確認・修正を行って下さい．

《登録画面入力の際の注意事項》

入力項目	注　意　事　項
セッションキーワード(一般講演，ポスターセッション)	まてりあ第65巻第11号803頁の講演セッションキーワード一覧から**希望(必須)**のセッションキーワードを選択する．
公募シンポジウム	まてりあ第65巻第11号806頁のテーマ要旨を参照の上，申し込むシンポジウム番号を選択する．
共同セッション	まてりあ第65巻第11号800頁に掲載のテーマから，申込むセッションの番号を選択する．
キーワード	キーワードを1語以上入力する．(最大10語入力可．) 特に対象とする材料，物質，合金名をキーワードの中に含める．
共同研究者数 所属機関数	共同研究者人数：最大15名まで 所属機関数：15施設まで
申込者氏名	姓・名の順で，漢字，かなで入力する． 「申込者」が「講演者」となるようにチェックを入れる． 共同研究者は非会員でも可．
ローマ字氏名	名・姓の順で，半角英字で入力する．
所属機関略称	**慣用の略称で記入**する．研究時所属と現所属が異なる場合は両方記入する． [例：東北大工(現日立中研)] 大学院生と学生の区別：それぞれ(院生)，(学生)と所属の後に表示する． [例：東北大工(学生)　東北大工(院生)]
優秀ポスター賞，公募シンポジウム優秀口頭発表賞エントリー	エントリーする方は，チェックを入れて下さい．(チェック無しは対象外) 対象：優秀ポスター賞は30歳以下の学生または若手研究者． 公募シンポジウム優秀口頭発表賞は，30歳以下の学生限定． いずれの賞もエントリーする賞を過去に受賞していないこと．
講演題目	和文題名は全角75文字まで，英文題名は半角200文字まで． 講演概要原稿の題名と一致させること．
要旨	講演概要の要旨を記入する．全角150文字以内．
概要原稿	**講演概要原稿作成要領に従って作成した pdf ファイル．** **アップロードする概要原稿の内容と申込欄に入力した題目・著者名が同一であることを確認すること．** 変更がある場合は概要原稿の修正版を期日内に再提出する．
その他・備考欄	連続講演を希望する場合は，講演申し込み要領の 4. 連続講演を参照して申し込むこと．申込締切後の希望は受付けない． その他，やむを得ない理由で講演希望日等があれば備考欄に記入すること．理由を鑑みて考慮します．ただし，希望に沿えな場合があります．
会員番号	講演者は必ず会員番号(ID)を記入する．共著者はわかる範囲で可．
著作権	同意できない場合は申込できない．
プログラム公開	同意できない場合は申込できない．
講演概要の WEB 公開	講演概要の WEB 公開に同意できない場合は，申込できない． 講演概要は，開催日 2 週間前に参加申込者のみに公開． **共同セッションの方**：鉄鋼協会の「材料とプロセス」(オンライン掲載)の他，鉄鋼協会の大会ポータルサイトでの講演概要公開に同意下さい．

連絡・問合せ先：(公社)日本金属学会 講演大会係
☎ 022-223-3685　FAX 022-223-6312　E-mail: annualm@jimm.jp

本 会 記 事
©2026 The Japan Institute of Metals and Materials

セッションキーワード一覧

◇講演大会セッション分類(セッションキーワード・キーワード)(2026年11月改訂)◇

新分野	大分類	中分類	No	セッションキーワード	キーワード
1 分野	1.材料と社会	材料と社会	1.1	教育	専門教育，共通教育，企業での教育，生涯教育，小・中・高校生への教育，カリキュラム，授業の実際，教材・教育の評価，社会人教育
			1.2	歴史・材料考古学	金属学・材料科学の歴史，金属技術の歴史・変換，材料考古学，文化財保存
			1.3	技術革新・技術伝承	IoT，マテリアルインターフェース，マテリアルソフトエンジニアリング，材料情報，知的所有権，その他の金属学・材料学に関連した新分野・境界分野
			1.4	環境	LCA，リスクマネージメント，資源経済，環境・資源政策，材料の環境信頼性評価，製造物責任，環境低負荷材料，易リサイクル材料・設計，易解体設計，マテリアルセレクション，省材料設計，高寿命材料・設計，材料のリサイクルシステム，材料資源環境システム，再資源化用途開発，土壌浄化，環境修復
			1.5	ダイバーシティ	男女共同参画，LGBTI，国際化，学際協力，世代間・業種間融合
			1.6	新領域・その他	
	12.先進機能材料	先進機能材料	12.1	萌芽材料	
			12.2	新領域・その他	
2 分野	2.材料物性	材料物性	2.1	磁気機能・磁気物性	磁気的性質，磁気光学的性質，電子状態，熱磁気効果(スピンゼーベック効果，異常ネルンスト効果，磁気熱量効果，磁気ハイパーサーミア等)，核物性等
			2.2	半導体機能・電気物性	誘電的性質，光学的性質，電子輸送，薄膜・表面・界面物性，熱的性質(ゼーベック効果，ペルチェ効果等)，原子輸送，金属絶縁体転移等
			2.3	構造物性	結晶成長，結晶構造，準結晶構造，非晶質固体構造，格子ダイナミクスと安定性，相転移(変態)，不整合・整合構造，格子欠陥，粒界，原子空孔，溶質原子，転位，積層欠陥，双晶，熱膨張，弾性定数，界面エネルギー，界面移動度，格子振動，デバイ温度等
			2.4	熱物性・輸送物性	凝集エネルギー，混合エンタルピー，活量，形成エンタルピー，比熱，熱拡散，溶質拡散，自己拡散，熱伝導，熱膨張，表面/界面張力，粘度，密度，蒸気圧等
			2.5	物性評価	照射効果，ナノスケール量子効果，トンネル効果，メスバウアー効果，核磁気共鳴，分光・発光・回折一般等
			2.6	新領域・その他	
3 分野	3.材料組織	相安定性・相変態	3.1	熱力学・状態図・相平衡	熱力学，状態図，相平衡，準安定，非平衡，相転移，金属間化合物，規則−不規則転移，磁気転移等
			3.2	拡散・相変態	拡散，偏析，析出，拡散変態，規則−不規則変態，不連続析出，粒界・相界面上析出等
			3.3	マルテンサイト変態・変位型相変態	マルテンサイト変態，変位型相変態(ベイナイト変態含む)，形状記憶・超弾性材料，磁性形状記憶合金，TWIP・TRIP，エージング・テンパリング，双晶変形，熱・応力・磁場・電場誘起相変態，組織制御，組織形成と機械的性質，プロセッシング(粉末冶金・複合材料含む)，SMA アクチュエータ・応用，マルテンサイト変態に関わる材料機能(ダンピング，磁気・弾性熱量効果等)等
			3.4	合金･アモルファス･準結晶	アモルファス，金属ガラス，準結晶，高エントロピー材料等
		組織制御	3.5	組織制御	時効・析出，熱処理，加工，加工熱処理，合金元素添加，急冷凝固，メカニカルアロイング，界面接合強さ，複合化，多層化，薄膜，積層造形，ミルフィーユ構造，コーティング，シミュレーション等
			3.6	再結晶･粒成長･集合組織	回復・再結晶，集合組織，粒成長，粒界，異相界面，双晶等
		分析・解析・評価	3.7	組織解析・分析	電子顕微鏡，STM，AFM，FIM，3 次元アトムプローブ，X 線・中性子線回折，EPMA，XPS，イメージング・マッピング技術，放射光，理論・計算機シミュレーション等
		計算材料科学	3.8	計算材料科学	金属材料，無機材料，材料設計，第一原理電子論計算，分子シミュレーション，分子動力学法，モンテカルロ法，CALPHAD 法，フェーズフィールド法，セル・オートマン，マルチスケール解析等
			3.9	新領域・その他	
4 分野	4.力学特性	力学特性の基礎	4.1	強度・力学特性	力学(格子欠陥，弾性，塑性，破壊力学，有限要素法，分子動力学，マイクロメカニックス等)，転位の基本的特性(運動，増殖，相互作用等)，転位と各種格子欠陥の相互作用，変形(弾性，擬弾性，塑性，粘性，粒界，変形双晶等)，各種強化機構，破壊機構(き裂やボイド発生・成長・合体等)
			4.2	塑性・疲労・破壊	延性，靭性，静的および動的破壊，破壊靭性値，疲労，応力腐食割れ，水素脆性，遅れ破壊，寿命
			4.3	高温変形･クリープ･超塑性	高温変形，クリープ，クリープ疲労，超塑性
			4.4	力学特性評価	力学特性の評価法，力学的挙動の予測(応力−ひずみ曲線，クリープ曲線等の予測，寿命予測等)，合金設計，複合材料(材料システム)設計，データベース
		力学特性と組織	4.5	欠陥と組織	転位組織，転位セル，変形帯，強加工，双晶，ボイド，亀裂
			4.6	多結晶組織	粒成長，再結晶，双晶，偏析，粒界析出，粒界反応型析出
			4.7	金属間化合物・ハイエントロピー合金	金属間化合物，ハイエントロピー合金，合金規則相，高温変形
			4.8	超微細粒組織	微細粒，バルクナノメタル，強化機構
			4.9	新領域・その他	プラストン，キンク変形，ディスクリネーション，ミルフィーユ構造

→ 次頁へ

©2026 The Japan Institute of Metals and Materials

新分野	大分類	中分類	No	セッションキーワード	キーワード
5 分野	5.材料化学	耐食性・耐酸化性	5.1	腐食・防食	水溶液腐食，電気化学測定，表面皮膜，腐食環境解析，孔食，すき間腐食，応力腐食割れ，大気腐食，高温高圧水腐食，水素脆化，異種金属接触腐食，エロージョンコロージョン，腐食事例，耐食合金，耐食コーティング，腐食抑制・防錆剤，電気防食，等
			5.2	高温酸化・高温腐食	高温ガス腐食，溶融塩腐食，水蒸気酸化，エロージョン・コロージョン，超臨界環境等，耐熱材料，耐熱コーティング，超合金，金属間化合物，セラミックス材料，酸化物の特性
		表面・界面・触媒	5.3	湿式表面処理･湿式めっき	電解・無電解めっき，アノード酸化，エッチング，化成処理，イオン液体，電気化学的な成膜，ぬれ性，摩擦・摩耗・潤滑等
			5.4	気相プロセス・薄膜・厚膜作製技術	PVD，CVD，スパッタリング，プラズマプロセス，イオン注入・イオン打込み，イオンミキシング，コーティング，クラスター制御，表面処理，表面改質等，エッチング，アッシング，リソグラフィー，マイクロ・トライボロジー，マイクロ・マシニング，マイクロ・ボンディング，ケミカルメカニカルポリッシング(CMP)，溶射，肉盛り，拡散浸漬処理，ぬれ性，摩擦・摩耗・潤滑等
			5.5	表界面反応・分析	表面物性・反応，表面の構造と結晶学，吸着・脱離，表面の熱・統計力学，表面の電子状態およびエネルギー・計算科学，電気化学反応，表面・界面の作製技術，表面分析法(各種化学分析・機器分析，極微量分析，極小領域分析，状態分析，プローブ顕微鏡，顕微分光，環境やプロセスのその場分析，成分画像解析等，各種分析装置の開発，化学センサー，モニタリング法等)，コロイド材料
			5.6	触媒材料・触媒反応	触媒材料(貴金属・卑金属触媒，金属間化合物触媒，ナノ構造触媒，規則性多孔体，有機金属，光触媒等)，触媒反応(酸化，水素製造，C–H 活性化，クロスカップリング，界面分子変換，排気ガス浄化等)，触媒技術と反応プロセス開発，触媒理論
			5.7	新領域・その他	
6 分野	6.材料プロセシング	環境・リサイクルプロセス	6.1	環境・リサイクル技術	LCA，リスクマネジメント，資源経済，環境・資源政策，材料の環境信頼性評価，製造物責任，事故解析，材料安全，環境低負荷材料，易リサイクル材料，易リサイクル設計，易解体設計，マテリアルセレクション，省材料設計，高寿命材料，高寿命設計，分離プロセス，再資源化プロセス，材料のリサイクルシステム，材料資源循環システム，リサイクル化学，クローズドプロセス，再資源化用途開発など
			6.2	副産物・廃棄物利活用	
		溶融・凝固プロセス 高温プロセス	6.3	製・精錬の物理化学	資源・原料，各種および新製・精錬法，冶金熱力学，化学反応工学，移動速度論，高温プロセス解析，数値流体力学，高純度化，分離・回収・精製，環境・リサイクル等
			6.4	融体・高温物性	熱力学的諸量，融体物性，モデリング等
			6.5	凝固･結晶成長･鋳造技術	結晶成長，過冷却，非晶質，準結晶，輸送現象，高純化，鋳造，鋳物，ダイキャスト，単結晶製造技術，半溶融加工，溶射，反応性溶射，溶射素過程，等
		固相プロセス 固相・溶接プロセス	6.6	塑性変形・塑性加工技術	塑性加工，高ひずみ速度加工，強加工プロセス，極限環境プロセス等
			6.7	粉末・焼結・造形技術	粉体製造，超微粉，粉体成形・粉末冶金(焼結プロセスを含む)，メカニカルアロイング，焼結合成プロセス，粉末射出成形(金属射出成形，セラミック射出成形)，3次元造形(3D プリンター)，コールドスプレー，スプレーフォーミング，エアロゾルデポジション，アトマイズ，Additive Manufacturing 等
			6.8	接合・溶接・実装・接着・複合技術	メカノケミカルプロセス，常温接合，拡散接合，超音波接合，摩擦圧接，摩擦撹拌接合，爆発圧接，電磁圧接，溶接，ろう付け，接着，精密接着，メッキ・プロセス，はんだ付け，実装，マイクロ接合，力学特性，信頼性等
		材料評価，プロセス評価技術	6.9	材料評価技術	非破壊検査，非破壊定量評価，残留応力解析，センシング技術，信頼度評価等，各種プロセス・シミュレーション，テラヘルツ
			6.10	プロセス評価	プロセス計測・制御技術，エネルギーマネージメント
			6.11	新領域・その他	カーボンニュートラル，水素プロセス，超温度場，超温度場材創成学，急速昇温
7 分野	7.生体･医療･福祉	生体材料基礎･生体応答	7.1	細胞機能・組織再生	細胞機能，細胞間相互作用，シグナル伝達，細胞・生体組織評価，細胞増殖・分化，組織修復(Tissue Engineering)，DDS(Drug Delivery System)，ゲノム解析・編集，細胞適合性，細胞配向，代謝回転，恒常性，石灰化，各種臓器，骨・歯牙，血管，骨芽細胞，破骨細胞，OCY(オステオサイト)，骨系細胞，細胞外基質，がん，細胞小器官，RNA，DNA，遺伝子組み換え，細胞培養，骨形態計測法，染色法，足場材料，機能性タンパク質等
			7.2	構造生体機能化	機能発現，バイオメカニクス，計算科学，金属組織・組織制御，弾性・塑性変形機構，力学機能発現(弾性率，強度，延性，疲労，破壊)，スキャフォールド，インプラント，双晶変形，生体組織，組織配向性，人工関節，人工歯根，熱処理，多孔化，機能・組織評価法，Co–Cr 合金，ステンレス鋼，生体用セラミックス，リン酸カルシウム系材料，PEEK，整形外科用材料等
			7.3	表界面生体機能化	生体/材料界面，表面修飾，ナノ表面・界面，感染防御・制御，表界面機能，骨伝導・骨誘導，バイオセンサー，抗菌性，タンパク質吸着，コーティング，化学処理，表面分析・評価，PVD，CVD，コーティング材料等
		生体材料設計開発・臨床	7.4	生体・医療・福祉材料	バイオマテリアルサイエンス，生体情報・計測，リハビリテーション医学，ユニバーサルデザイン，バリアフリー，生体機能代替，福祉用具・支援機器，ウェアラブル，IoT，AI，非磁性・低磁性，低弾性・高弾性，生体活性ガラス，生分解性材料，耐摩耗性材料，歯科用合金，生体用ハイエントロピー合金等
			7.5	生体用金属材料	Ti・Ti合金，低弾性率，形状記憶，超弾性，オッセオインテグレーション，集合組織，人工骨・関節，相変態・組織制御，機能評価法，電子顕微鏡，β 型 Ti 合金，レアメタルフリー，元素戦略，計算機シミュレーション，Mg 合金等
			7.6	Additive Manufacturing･テーラーメード医療材料	付加製造，3D プリンタ，金属積層造形，金属粉末，異方性/等方性，形状/組織制御，力学特性，残留応力，生体モデリング，形状計測，格子構造，薬物送達システム，マイクロマシン，マスカスタマイゼーション，テーラーメイド医療，遠隔地診療，レーザービーム，電子ビーム，順シミュレーション・逆問題解析，溶融池シミュレーション，リアルタイムモニタリング，4D プリンティング等
			7.7	生体安全性・有効性評価	医用画像・バイオイメージング，生体シミュレーション，レギュラトリーサイエンス，生体情報・計測，医療技術倫理，細胞毒性，免疫応答，疾病，代謝異常，骨吸収，金属アレルギー，耐食性，疲労，疾病治療，医療機器，臨床研究，臨床応用，GLP，生体吸収性，バイオフィルム，微生物，生態系，分解劣化等
			7.8	新領域・その他	

本 会 記 事
©2026 The Japan Institute of Metals and Materials

新分野	大分類	中分類	No	セッションキーワード	キーワード
8 分野	8.構造材料	汎用構造材料	8.1	汎用構造材料	Fe・Fe 合金，Ti・Ti 合金
		軽量性構造材料	8.2	軽量性構造材料	Ti・Ti 合金，Al・Al 合金，Mg・Mg 合金
		耐食性構造材料	8.3	耐食性構造材料	ステンレス鋼，Ti・Ti 合金，Cu・Cu 合金，Al・Al 合金
		耐熱性材料	8.4	耐熱性材料	ジェットエンジン・ガスタービン耐熱材料
		機能性構造材料	8.5	電子機器用機能性構造材料	Cu・Cu 合金，Al・Al 合金
			8.6	形状記憶合金・超弾性合金	マルテンサイト変態，形状記憶合金・超弾性合金，インテリジェント材料，アクチュエーター，制振材料，耐震材料等
			8.7	セラミックス材料	セラミックス材料の原理・原則，相変態，構造相転移，焼結，組織制御，機能材料，強化機構，破壊，成型性，耐熱性，計算材料科学
		複合・ポーラス材料	8.8	複合材料	複合材料，スポーツ用品材料，積層造形，接合，組織制御，トポロジー最適化，力学特性，熱特性，電磁気特性，計算材料科学
			8.9	ポーラス材料	ポーラス材料，積層造形，接合，組織制御，トポロジー最適化，力学特性，熱特性，電磁気特性，計算材料科学
			8.10	新領域・その他	
9 分野	9.電気・磁気関連材料	電気・電子・光関連材料	9.1	伝導・実装材料	電気伝導材料，電極材料，電子実装材料，配線材料，マイクロ接合材料，フラーレン，カーボンナノチューブ，熱伝導材料等
			9.2	半導体・誘電体材料	半導体材料，誘電体材料，圧電体材料，センサー材料，太陽電池，High-k 材料，低次元物質，2 次元材料，ナノ粒子・(超)微粒子，原子クラスター等
			9.3	光・電磁波関連材料	光学結晶材料，光記録材料，液晶材料，光ファイバー材料，光学ガラス材料，テラヘルツ，非破壊検査デバイス等
			9.4	強相関電子系材料	超伝導材料，トポロジカル絶縁体，強相関電子系材料，マルチフェロイック材料等
		磁性材料	9.5	ソフト・ハード磁性材料	ソフト磁性材料(合金系，フェライト系，アモルファス，ナノ結晶等)，ハード磁性材料(希土類系，合金系，フェライト系等)，電磁波吸収体・ノイズ抑制体材料等
			9.6	スピントロニクス・ナノ磁性材料	磁気抵抗効果(AMR，GMR，TMR 等)材料，スピンメモリー・センサー材料，スピンカロリトロニクス材料，スピン注入技術，スピン流制御技術，スピン(軌道)トルク制御技術，磁気記録・磁気デバイス用材料，磁性(超)薄膜・多層膜・磁性金属人工格子，磁気スキルミオン等
			9.7	磁気機能材料	磁歪材料，磁気冷凍材料，フラストレーション材料，反強磁性材料，相転移誘起材料(磁場誘起相変態等)等
			9.8	新領域・その他	
10分野	10.エネルギー関連材料	原子力材料	10.1	原子力材料	原子炉材料，核融合炉材料，ビーム関連材料，炭素鋼，低合金鋼，ステンレス鋼，ニッケル基合金，ジルコニウム合金，酸化物分散強化(ODS)合金，ハイエントロピー合金，溶融塩，積層造形，照射，格子欠陥，粒界，拡散，偏析，析出，準安定，非平衡，硬化，脆化，靭性，疲労，クリープ，高温強度，腐食，割れ，水素同位体特性，計算材料科学，画像解析，データベース，など
		熱エネルギー変換材料	10.2	熱エネルギー変換材料	熱電変換，ゼーベック効果，ペルチェ効果，ネルンスト効果，スピン熱電，蓄熱，潜熱，顕熱，化学蓄熱，相変化材料(PCM)，熱伝導，電気伝導，フォノンエンジニアリング，バンドエンジニアリング，ナノ構造制御，格子欠陥，界面熱抵抗，熱マネジメント，など
		水素・電池関連材料	10.3	電池材料･イオン伝導材料	全固体電池，電極材料，電解質材料，イオン伝導材料，電池設計，電池関連物性，など
			10.4	水素化物・水素貯蔵・水素透過・水素関連物性	金属水素化物，錯体水素化物，水素貯蔵，水素透過，水素脆化，水素利用，水素関連物性，機能・プロセッシング，金属-水素相互作用，同位体効果，など
		新領域･その他	10.5	新領域・その他	センサー材料，熱伝導材料，など
11分野	11.人工知能(AI)・マテリアルズインフォマティクス(MI)	計算科学	11.1	計算科学	第一原理計算，分子動力学計算，モンテカルロ法，有限要素法，境界要素法，マルチスケール解析，マルチフィジックス解析，プロセスシミュレーション等
		データ科学	11.2	データ科学	マテリアルズインフォマティクス，マテリアルズインテグレーション，データ駆動科学，逆問題，データ同化，最適化，データベース，ビッグデータ，ベイズ推定，統計解析，多変量解析，自動実験等
		AI	11.3	AI	機械学習，深層学習，強化学習，転移学習，サロゲートモデリング，LLM 生成 AI，PINN，フィジカル AI 等
			11.4	新領域・その他	

◇　◇　◇

©2026 The Japan Institute of Metals and Materials

2027年春期講演大会公募シンポジウムテーマ要旨

春期講演大会では，下記2テーマの公募シンポジウムを実施します．
講演を申込む場合は，希望するシンポジウムを選択のうえ，お申込下さい．

S1　データ創出・活用による磁性材料の研究開発 IV

Digital Transformation Initiative R&D for Magnetic Materials IV

近年のAI技術の急速な進展により自動自律実験や生成AIを用いたデータ駆動型材料研究が産学官で普及したことで，材料開発手法に劇的な変革をもたらしている．しかし，適用事例の多様化に伴い，他分野の動向を俯瞰的に把握することが困難になるという課題も顕在化している．こうした背景を踏まえ，文部科学省「データ創出・活用型マテリアル研究開発プロジェクト（DxMT）」では，異なる材料系を対象とする5拠点が連携し，データ駆動・DX研究の推進と拠点間のデータ連携強化を図っている．本シンポジウムでは，主要ターゲットの一つである磁性材料のみならず，構造材料を含む多様な材料系を対象に，DXを活用した材料開発の現状と課題について議論を行う．産業界の先端事例，DxMT各拠点の取り組み，さらにはアカデミアからの最新成果を網羅し，国内外の社会実装や産業振興に資するデータ創出・活用型材料研究の展望について，活発な討論と情報交換を行う場となることを期待する．

テーマ責任者

（シンポジウムchair）：
物質・材料研究機構副センター長 袖山慶太郎

（シンポジウムco-chairs）：
物材機構 大久保忠勝　東北大 宮本吾郎　岡本　聡
物材機構 高橋有紀子　産総研 岡田周祐
科学大 三宅　隆

S2　特異反応場における時間/空間応答を利用した新奇材料構造創成 X

Tailoring of novel-structured materials using spatio-temporal responses under exotic reaction fields X

非平衡状態を利用したナノ・マイクロ組織を有する材料の開発や物性探索では，極限反応場や特殊環境下の非平衡励起状態，緩和過程に代表される時間変化を利用した＊エキゾチックな＊時間的・空間的応答の理解・制御が重要である．同趣旨にて開催した過去9回のシンポジウムでは2件の基調講演に加え，常に15件程度の一般講演があった．このように会員の興味が高いことを踏まえ，2027年春期講演大会でも継続開催する．特に今回は基調講演として，特異反応場の重要性とともに，当シンポを牽引されてこられた故・田中俊一郎先生，そして先生のご遺志に基づき創設された「未踏分野開拓賞」について紹介いただく．また，宇宙機器用太陽電池の放射線照射効果と回復現象に関する研究についても基調講演にて発表して頂き，特異反応場での時間/空間応答を利用したナノ・マイクロ組織形成過程の広い理解につなげる．加えて特異反応場をキーワードとする一般講演も交えて新規材料開発に向けた課題などを討論する．

テーマ責任者

（シンポジウムchair）：
筑波大学数理物質系物質工学域准教授 谷本久典

（シンポジウムco-chairs）：
東北大 森戸春彦　illumines 中村貴宏
大阪公立大 堀　史説　吉岡　聰

◇　◇　◇

©2026 The Japan Institute of Metals and Materials

日本金属学会2027年春期(第180回)講演大会
第17回「高校生ポスター発表」募集案内

申込締切日：2026年12月25日(金)

本会では最新の研究成果を発表・討議する場として毎年春秋２回の「講演大会」を開催しています．この講演大会では，若い生徒や学生に金属および材料学分野に対して興味や理解を高めてもらうため「高校生ポスターセッション」を開催しています．2027年春期講演大会では，2027年３月８日(月)に東京科学大学大岡山キャンパスで「第17回高校生ポスターセッション」を開催します．(これまで開催しておりましたオンライン発表は廃止となりました.)

ポスターセッションでは，研究成果の発表を大学の教授や企業の研究者等の専門家に直接聞いてもらい，質疑応答が受けられる貴重な機会であり，さらにポスターの内容や発表の応答などを審査して，優秀な発表には会長による賞を授与します．金属および材料学分野に興味があり，本講演大会でポスター発表していただける生徒は奮ってご応募下さい．

発表者と指導教員は講演大会に無料で参加でき，研究者の最新の研究成果の発表を無料で聴講いただけます．詳細は，「高校生ポスター発表要領」でご確認下さい．

また，高校生ポスター発表をされた方で希望者全員に，ユース会員の資格を贈ります．

「高校生ポスター発表」要領

学 会 名　日本金属学会2027年春期(第180回)講演大会

行 事 名　「第17回高校生ポスター発表」

開催場所　東京科学大学大岡山キャンパス
※これまで開催しておりましたオンライン発表は廃止となりました．

開催日時　2027年３月８日(月)午後

対 象 者　高校生および３年以下の高専学生

テ ー マ　材料に限定せず，フリーテーマです．(課題研究の成果，科学技術の取組等)

ポスター発表資料　作成要領は別途連絡

講演申込　https://data.jimm.jp/jim/pos/

講演概要原稿　不要

参加費および講演聴講，その他

① 発表者，共同研究者および指導教員(ただし，大学生および大学の指導教員は除く)の参加費を免除し，講演大会の発表を聴講できる．

② 希望があれば，高校生・高専ポスター発表の関係者(親，友人)５名程度までの参加費を免除し，講演大会の発表を聴講することができる．

③ エントリーに登録された方々の参加証は現地で配布．それ以外の参加者がいる場合は，別途送付の申込書を返信する．

④ 指導教員宛てに，参加者用 ID とパスワードおよびプログラム１部(PDF)を配布する．

⑤ 発表希望者全員に本会ユース会員の資格を贈呈する．

⑥ 昼食をとりながら，大学の先生のお話や学会についてお話が聞ける，ランチョンセミナー(無料，時間は11：30～12：30の予定)を開催いたしますので，ご参加頂きます．本ランチョンセミナーには発表者，共同研究者，指導教員および発表関係者がご参加できます．
なお，旅程の都合でランチョンセミナーへ参加できない場合もポスター発表することは可能です．その場合は，申込の際に「備考欄」にその旨を記載頂くか，または事務局へ申込締め切り日までにご連絡をお願いいたします．

⑦ ⑥の該当者はセミナー会場またはポスターセッション会場において，「缶バッジ作り」を体験できます．

高校生ポスター賞　優秀な発表には金属学会長賞，最優秀ポスター賞および優秀ポスター賞を授賞します．

問合せ・連絡先　(公社)日本金属学会　講演大会係
☎ 022-223-3685　FAX 022-223-6312　E-mail: annualm@jimm.jp

©2026 The Japan Institute of Metals and Materials

2027年春期講演大会
日本金属学会・日本鉄鋼協会合同懇親会開催・参加募集案内

2027年春期講演大会における懇親会を日本鉄鋼協会と合同で下記の通り開催いたします．ご参加を希望される方は，期日までに下記要領にてお申し込み下さい．

開催日時　2027年 3 月 8 日(月)18：00–20：00
開催場所　東京科学大学大岡山キャンパス　つばめテラス

参加費　予約申込　一般　8,000円，同伴者(配偶者同伴の場合)5,000円
　　当日申込　一般　10,000円，同伴者(配偶者同伴の場合)5,000円

予約申込期間　2026年11月17日(火)～2027年 2 月19日(金)

申込方法　※講演大会参加申込とは別になります．

1)　講演大会に参加申込される方・された方：以下の流れでお申し込み下さい．
①https://jimm.smoosy.atlas.jp/mypage/login にログイン
②会員・非会員マイページの講演大会「参加・演題登録サイト」ボタンをクリック
③初めて大会参加申込する方：大会マイページの参加申込にある「参加申込」
　すでに参加登録済みの方：「追加購入」ボタンをクリック
④懇親会参加申込を選択して「この内容で登録」で申込完了→支払いへ進む

2)　懇親会のみにご参加される方(講演大会には参加しない方)
E–mail: annualm@jimm.jp へお問い合わせ下さい．

支払方法

予約申込　上記申込サイトで登録後，大会マイページでオンライン決済をして下さい．銀行振込も可能です．
（ただし，2027年 2 月19日着金とする）
領収書は決済後，大会マイページでダウンロードができます．

当日申込　現金のみでのお支払いとなります．

※お支払後の取消は，準備の都合上ご返金いたしかねますのでご了承下さい．

当日の参加について

〈予約申し込みの方〉

開催当日に懇親会会場の金属学会受付にお越し下さい．**懇親会予約申込者の講演大会参加証には「懇親会参加」と表示されますので，講演大会参加証を着用しご来場下さい．**当日会場にて参加者名簿をお渡しいたします．
懇親会参加のみの方(講演大会に参加しない方)の参加証は，当日会場にてご用意しております．

〈当日申込の方〉

開催当日に懇親会会場の当日受付にてお申込みとお支払いをして下さい．現金のみのお支払いとなります．参加証と参加者名簿をお渡しいたします．

問合先

〒980–8544 仙台市青葉区一番町 1–14–32
(公社)日本金属学会　講演大会係
☎ 022–223–3685　FAX 022–223–6312　E–mail: annualm@jimm.jp

©2026 The Japan Institute of Metals and Materials

2027年春期講演大会　国外研究者特別講演・国外研究者招待講演　推薦募集
（旧外国人特別講演・外国人招待講演）

推薦締切日：2026年11月17日（火）

春秋大会における国外研究者による特別講演と招待講演については会員（正員）からの推薦をもとに，国際学術交流委員会において審議採択し，講演実施細目については講演大会委員会で決定いたします．2027年春期講演大会の特別講演と招待講演を募集いたしますので，下記要領によりご推薦下さい．

（実施ルール）

講師の定義と選定基準

- **特別講演者（Special Keynote Speaker）**
  日本国外で活動する研究者の内，当該分野において世界最高峰の業績や知名度を有し，イベントのメインスピーカーとなる者として推薦され，国際学術交流委員会にて承認された者．春秋の各講演大会に対して，原則として4名までとする．
- **招待講演者（Invited Speaker）**
  日本国外で活動する研究者の内，特定のセッションやシンポジウムにおいて，専門的な知見を共有する者として推薦され，国際学術交流委員会にて承認された者．春秋の各講演大会に対して，原則として5名までとする．

招聘・承認プロセス

1. **推薦・申請**：推薦者は，所定の「国外研究者 特別・招待講演 申請書」（所属，役職，経歴，研究業績，講演題目，セッション名，推薦理由，推薦者名，補助概算額を含む）を指定の期日までに事務局へ提出する．推薦者の資格は正員とする．
2. **審査・承認**：国際学術交流委員会にて費用対効果およびプログラムへの貢献度を審議して承認し，理事会にて報告を行う．
3. **依頼状（Invitation Letter）の送付**：承認後，会長名義で公式な依頼状を英文にて送付する．

待遇・費用負担基準

区　分	特別講演者	招待講演者
講演時間	講演30分～50分/討論10分	講演15分～25分/討論5分
謝金	本会の謝金規程の額を支給	本会の謝金規程の額を支給
参加登録費	免除（本人のみ）	免除（本人のみ）
懇親会招待	あり	あり

運営・サポート体制（アテンド）

招聘講師の講演大会参加アテンド，ビザ取得サポート，保険等は原則として推薦者が行うこととする．

講演当日の運用

言語と座長（Chairperson）

○講演は原則として英語（または指定の言語）で行う．

○座長は，該当分野の専門家であり，かつ英語での質疑応答を円滑にファシリテーションできる者を配置する．

プログラムおよび講演概要

⑴ すべての講演者に対し，他講演と同等形式（A4サイズ・1枚）の講演概要の提出を義務付ける．提出は推薦者を通じ事務局に期日までに提出する．

⑵ 推薦書申請の際に記載された講演題目で講演登録となり，プログラムは同申請内容のセッションまたはシンポジウムでプログラム編成を行う．

著作権および配信の取扱い

提出された講演概要の著作権は本会に帰属するものとする．また，オンライン配信等を行う場合，発表内容の無断録画・録音・撮影は一律禁止とする．

推薦用紙

所定様式（ホームページからダウンロード下さい）により，下記メールアドレス宛に「国外研究者特別講演推薦」と明記のうえ，お送り下さい．送信後2～3日過ぎても受理メールの無い場合はお問い合せ下さい．

推薦書提出期日　2026年11月17日（火）

照会・推薦書提出先

〒980-8544 仙台市青葉区一番町1-14-32　（公社）日本金属学会　国際学術交流委員会宛

FAX 022-223-3685　E-mail: stevent@jimm.jp

©2026 The Japan Institute of Metals and Materials

オンデマンド配信（日本金属学会オンライン教育講座）開催案内

New!!

『金属材料の耐環境性(3)　水素脆化と水素検出・計測技術』

配信：2027年1月7日(木)～2月4日(木)

講義概要

カーボンニュートラル社会実現に向け，二酸化炭素の排出を抑制することが求められています．運輸の分野においては輸送機器の軽量化のために金属材料の高強度化が必須とされています．材料の高強度化は水素脆性及び遅れ破壊感受性を高めることが知られており，その対策が急務とされています．本講座では水素侵入および脆化，水素の局所解析ならびに検出技術を解説します．

本講座は2025年12月に開催された当該講座の録画をオンデマンドで視聴いただきます．

配信期間中は好きな時間に何度でもご聴講いただけます．

カリキュラム

1時限目　金属材料の水素脆性　～潜伏期から破壊まで～(講師：高井　健一)

2時限目　金属材料中の水素の局所解析(講師：戸田　裕之)

3時限目　電気化学計測・制御を基軸とした水素侵入解析(講師：伏見　公志)

4時限目　リアルタイム水素検出技術(講師：菅原　優)

＊トータル約5時間半の講義になります．

講師紹介

上智大学・教授　高井　健一

1988年早稲田大学理工学部材料工学科，1990年早稲田大学大学院理工学研究科資源及材料工学専攻博士前期課程修了，1996年早稲田大学大学院理工学研究科資源及材料工学専攻博士後期課程修了 博士(工学)．1990年～1999年日本電信電話株式会社，1999年上智大学理工学部機械工学科 講師，2002年上智大学理工学部機械工学科 助教授，2009年上智大学理工学部機能創造理工学科 教授，2022年上智大学理工学研究科 委員長　現在に至る．

九州大学・教授　戸田　裕之

1987年京都大学工学部冶金学科卒業，1995年豊橋技術科学大学大学院工学研究科材料システム工学専攻博士後期課程修了 博士(工学)．1987年～1997年スズキ自動車工業株式会社技術研究所，1997年～1998年豊橋技術科学大学工学部生産システム工学系 講師，1998年～2005年豊橋技術科学大学工学部生産システム工学系 助教授，2005年～2006年豊橋技術科学大学工学部未来ビークルリサーチセンター 助教授，2006年～2010年豊橋技術科学大学工学部生産システム工学系 教授，2010年～2013年豊橋技術科学大学大学院工学研究院機械工学専攻 教授，2013年九州大学大学院工学研究院機械工学部門 教授，2013年9月～ 九州大学大学院工学研究院機械工学部門 主幹教授，現在に至る．その間，2001年～2002年サザンプトン大学エンジニアリング科学部 研究員，2014年～2017年九州大学 3D/3F 構造材料研究センター センター長．

北海道大学・准教授　伏見　公志

1990年北海道大学工学部応用化学科卒業，1995年北海道大学大学院工学研究科応用化学専攻博士後期課程修了 博士(工学)．1992年～1995年東洋製罐株式会社 研究員，1995年～2005年北海道大学大学院工学研究科分子化学専攻 助手，2005年～2007年北海道大学大学院工学研究科物質化学専攻 助手，2007年～2008年北海道大学大学院工学研究科物質化学専攻 助教，2008年～2010年北海道大学大学院工学研究科物質化学専攻 准教授，2010年～2015年北海道大学大学院工学研究院物質化学部門 准教授，2015年～北海道大学大学院工学研究院応用化学部門 准教授，現在に至る．その間，2002年～2003年マックスープランク鉄鋼研究所 客員研究員．

島根大学・教授　菅原　優

2006年東京工業大学工学部金属工学科卒業，2010年東京工業大学大学院理工学研究科材料工学専攻博士課程修了 博士(工学)．2010年～2018年東北大学大学院工学研究科知能デバイス材料学専攻 助教，2018年～2024年東北大学大学院工学研究科知能デバイス材料学専攻 准教授，2024年～島根大学材料エネルギー学部 教授，現在に至る．その間2008年～2010年日本学術振興会特別研究員(DC1)．

コーディネーター　大阪大学・教授　土谷　博昭

視聴期間　2027年1月7日(木)～2月4日(木)

©2026 The Japan Institute of Metals and Materials

視聴方法　オンデマンド配信システム UIshare から視聴いただきます．
資料は同システムのウェブサイトからダウンロードいただけます．
視聴方法および資料のダウンロードの方法は受講申込み者にメールでご案内します．

申込方法　下記のサイトよりお申込み下さい．
①今年度*初めての受講（2026年 3 月 1 日以降）
https://event.atlas.jp/ja/jimm/S0051
②今年度 2 講座目以降の受講（前回受講の講座名と参加登録番号の入力が必要）
https://event.atlas.jp/ja/jimm/S0052

受 講 料

対象者	1 講座基本料金	2 講座目以降割引料金※
正　員	20,000円	15,000円
学　生	8,000円	6,000円
非会員	40,000円	30,000円

○本会維持員会社社員，協賛学協会会員は正員扱い．
○学生は会員，非会員の区別なし．

※本年度開催のオンライン教育講座またはオンデマンド配信を 2 講座以上受講する場合，2 講座目からは割引料金（25％割引）となります．
本会の維持員社員が同一講座に 3 名以上でお申込みの場合，受講料が正員価格より25％割引となります（お申込み前にご相談下さい）．ただし，複数受講との重複割引はありません．

申込期間　2026年11月 2 日（月）～2027年 1 月14日（木）

受講料支払方法　①カード決済　もしくは　②銀行振込のいずれかの方法を選択して下さい．

問合せ先　（公社）日本金属学会　セミナー・シンポジウム係
〒980–8544 仙台市青葉区一番町 1–14–32
E–mail: meeting@jimm.jp　☎ 022–223–3685　FAX 022–223–6312

協賛予定

エネルギー・資源学会，応用物理学会，金属系材料研究開発センター，軽金属学会，軽金属製品協会，合金状態図研究会，資源・素材学会，ステンレス協会，素形材センター，電気化学会，電気学会，日本アルミニウム協会，日本 MRS，日本化学会，日本ガスタービン学会，日本機械学会，日本材料科学会，日本材料学会，日本磁気学会，日本セラミックス協会，日本塑性加工学会，日本チタン協会，日本鋳造工学会，日本鉄鋼協会，日本物理学会，日本分析化学会，粉体粉末冶金協会，腐食防食学会，表面技術協会，日本チタン学会，日本バイオマテリアル学会

◇　◇　◇



◎本会では、会員等向けの基礎教育講座をオンラインで行っております。本会フェローや著名な研究者らによる講義シリーズです。
開催後に講義録画をオンデマンドの見逃し配信もしております。是非ご活用下さい。

https://jimm.jp/event/online/

©2026 The Japan Institute of Metals and Materials

日本金属学会オンライン教育講座　開催案内

『構造材料の観察・分析技術(1)：バルク組成分析』

日　時　1日目　2026年11月12日(木)13：30～16：45　　2日目　11月13日(金)13：30～16：45

カリキュラム

2026年11月12日(木)　13：30～16：45

13：30～15：00　EPMAによる微小領域の元素分析(講師：塚本　一徳)

15：00～15：15　―休憩―

15：15～16：45　TEMによる微細組織観察(講師：杉山　昌章)

2026年11月13日(金)　13：30～16：45

13：30～15：00　FIB-SEM/TEM/APTを組み合わせたマルチスケール組織解析(講師：大久保　忠勝)

15：00～15：15　―休憩―

15：15～16：45　X線・中性子回折および小角散乱法による組織・構造解析(講師：大沼　正人)

講師紹介

日本電子株式会社・副主査　塚本　一徳

大阪大学超高圧電子顕微鏡センター・招へい教授　杉山　昌章

物質・材料研究機構　磁性・スピントロニクス材料研究センター・副センター長　大久保　忠勝

北海道大学工学研究院・教授　大沼　正人

申込締切　2026年11月5日(木)

詳　細　https://jimm.jp/event/online/

まてりあ9号681頁

『医療用金属材料の基礎2』

日　時　1日目　2026年12月3日(木)13：30～16：45　　2日目　12月4日(金)13：30～16：45

カリキュラム（※講師の講演日程が変更になりました）

2026年12月3日(木)　13：30～16：45

13：30～15：00　マグネシウム合金の基礎(講師：向井　敏司)

15：00～15：15　―休憩―

15：15～16：45　医療機器応用に向けたマグネシウム合金の可能性(講師：向井　敏司)

2026年12月4日(金)　13：30～16：45

13：30～15：00　チタンとその合金の基礎(講師：池田　勝彦)

15：00～15：15　―休憩―

15：15～16：45　チタン系バイオマテリアルの基礎と生体適合性(講師：池田　勝彦)

講師紹介

株式会社日本スペリア社R＆Dセンター・常任顧問，関西大学・名誉教授　池田　勝彦

神戸大学未来医工学研究開発センター/医学研究科医療創成工学専攻・教授　向井　敏司

申込締切　2026年11月26日(木)

詳　細　https://jimm.jp/event/online/

まてりあ9号682頁

本会記事
©2026 The Japan Institute of Metals and Materials

オンデマンド配信（日本金属学会オンライン教育講座）開催案内

『医療用無機材料の表面反応』

配信：2026年11月30日（月）～12月28日（月）

カリキュラム

1時限目　生体親和性セラミックスの基礎と機能強化（講師：春日　敏宏）
2時限目　生体親和性セラミックスの基礎と機能強化（講師：春日　敏宏）
3時限目　チタン・チタン合金の表面処理の基礎と抗菌化（講師：成島　尚之）
4時限目　チタン・チタン合金の表面処理の基礎と抗菌化（講師：成島　尚之）
＊トータル約6時間の講義になります.

講師紹介

名古屋工業大学・名誉教授　春日　敏宏
東北大学・教授　成島　尚之

申込締切　2026年12月7日（月）
詳　細　https://jimm.jp/event/online/
まてりあ10号747頁

『耐熱材料』

配信：2026年11月2日（月）～11月30日（月）

カリキュラム

1時限目　耐熱材料の高温変形・破壊挙動とその遷移（講師：丸山　公一）
2時限目　ガスタービン用Ni基耐熱合金の製造プロセスと高温強度（講師：筧　幸次）
3時限目　脱炭素化社会に資する耐熱材料の組織設計1 ―航空機用TiAl基合金―（講師：竹山　雅夫）
4時限目　脱炭素化社会に資する耐熱材料の組織設計2 ―発電用合金―（講師：竹山　雅夫）
＊トータル約6時間の講義になります.

講師紹介

東北大学・名誉教授　丸山　公一
東京都立大学・教授　筧　幸次
東京科学大学・名誉教授　竹山　雅夫

申込締切　2026年11月9日（月）
詳　細　https://jimm.jp/event/online/
まてりあ9号684頁

©2026 The Japan Institute of Metals and Materials

基礎 （予告）

日本金属学会オンライン教育講座「基礎シリーズ」新規開講のご案内

現在，日本金属学会では，会員サービスの向上と若手研究者・学生の教育支援を目的として，オンライン教育講座を開講しております．その新たなシリーズとして，2027年１月からオンライン教育講座「基礎シリーズ」を開講いたします．本講座は，新しく社会人になり材料分野に携わる方をはじめ，材料分野の基礎を学ぶ機会が少なかった方や，改めて基礎を学び直したい方など，幅広い方々におすすめの内容です．材料関連分野で必須となる基礎知識を，本会のフェローをはじめとする実績豊富な講師陣が体系的に解説します．スキルアップや社内研修，研究室での教育など，さまざまな場面でぜひご活用下さい．

【基礎シリーズの特長】

■**受講期間**：視聴登録から３か月間(期間中は何度でも繰り返し視聴可能)

■**修了証書**：講義後の演習問題で所定の基準を満たした受講者に発行

【基礎シリーズ講座一覧】

◆2027年１月開講予定

「構造材料組織学」　講師：津崎　兼彰(九州大学・名誉教授，物質・材料研究機構・名誉フェロー)

「結晶学」　講師：松原　英一郎(京都大学・名誉教授)

講師：土谷　浩一(物質・材料研究機構・名誉研究員)

「材料強度学」　講師：東田　賢二(九州大学・名誉教授)

◆2027年６月開講予定

「熱力学の基礎」　講師：吉川　健(大阪大学・教授)

「材料の熱力学」　講師：梶原　正憲(東京科学大学・名誉教授)

【受講料】(税込)

受講者区分	１講座基本料金	２講座目以降割引料金※
一般(非会員)	50,000円	35,000円
学生(非会員)	20,000円	14,000円
正　員	25,000円	17,500円
学生会員	10,000円	7,000円

○本会維持員会社社員は正員扱い．

※オンライン教育講座「基礎シリーズ」を２講座以上受講する場合，２講座目からは割引料金(30％割引)となります．

問合せ先　(公社)日本金属学会　セミナー・シンポジウム係
〒980-8544 仙台市青葉区一番町 1-14-32
E-mail: meeting@jimm.jp　☎ 022-223-3685　FAX 022-223-6312

※講義概要や申込方法などの詳細は，第66巻第１号(2027)でご案内いたします．

©2026 The Japan Institute of Metals and Materials

支部行事

2026年度公益社団法人 日本金属学会関東支部講習会

『船舶・造船の未来を支える材料技術』

日　時　2026年12月11日(金)　13：30～17：00
場　所　東京科学大学大岡山キャンパス(南8号館501号室)
協　賛
安全工学会，応用物理学会(予定)，金属系材料研究開発センター，軽金属学会，資源・素材学会，日本MRS，日本機械学会，腐食防食学会，日本計算工学会(予定)，日本建築学会関東支部(予定)，日本高圧力技術協会，日本塑性加工学会，日本鋳造工学会，日本鉄鋼協会，日本熱処理技術協会(予定)，日本複合材料学会，日本溶接協会，日本表面真空学会(予定)，日本分析化学会，日本化学会(予定)，日本ばね学会(予定)

開催趣旨

海上輸送は我が国の社会・経済を支える重要な社会基盤であり，その中核を担う造船業は，船舶の大型化や安全性向上に加え，脱炭素化，新燃料への転換，デジタル化など，大きな変革期を迎えています．こうした変化に対応し，次世代の船舶・造船技術を実現していく上で，金属材料およびその利用技術は重要な役割を担っています．

本講習会では，変革期にある造船業と船舶海洋工学の現状および今後の展望を俯瞰するとともに，船舶の安全性を高める高機能厚鋼板や，脱炭素化に伴い今後需要拡大が見込まれるアンモニアの貯蔵・輸送を支える材料技術について，大学および企業の第一線で活躍する専門家にご講義いただきます．造船・船舶分野が直面する新たな課題と，それに対して材料技術が果たす役割を知ることで，今後の材料研究・技術開発を考える機会とすることを目的とします．

【プログラム】

13：30～13：35　開会挨拶
東京科学大学　総合研究院　稲邑朋也

13：35～14：30　変革期を迎える造船業と船舶海洋工学の最近の動向について
横浜国立大学　大学院工学研究院　川村恭己

―5分休憩―

14：35～15：15　船舶の安全性向上に貢献する高機能厚鋼板の開発と実用化
日本製鉄株式会社　技術開発本部　鉄鋼研究所
大川鉄平

―5分休憩―

15：20～16：00　表層軟質クラッド鋼板を実適用した液体アンモニアタンクの30年間の耐SCC性
JFEスチール株式会社スチール研究所
安田恭野

16：00～17：00　総合討論

【講演概要】
ホームページ(イベント→関東支部)をご覧下さい．

【2026年度講習会実行委員会】
実行委員長：稲邑朋也(東京科学大)
梅澤修(横浜国大)，大出真知子(NIMS)，木村正雄(高エネ機構)，岡本力(日本製鉄)，中尾航(横浜国大)，長谷川寛(JFE)，藤田敏之(東芝)，船川義正(JFE)，御手洗容子(東大)

企画世話人　(公社)日本金属学会関東支部
支部長：木村好里(東京科学大)，幹事：林幸(東京科学大)
事務局：福島彩(東京科学大)

【受講申込】
参加費　会員5,000円(協賛学会会員も同額)，
非会員10,000円，学生無料

参加申込方法
講習会に参加をご希望の方は**11月30日(月)**までに氏名，所属，E-mailなどを下記リンクの登録フォームからのお申込み下さい．
参加登録フォーム
https://forms.gle/xkWTnMBQErhRPvps9

〈参加登録フォームへの入力後〉，参加費のお支払いをお願いします．(学生以外)
以下のフォームを使ってのクレジットカード支払いをお願いします．クレジットカード支払いが難しい場合には，以下の振込先へ銀行振り込みお願いします．尚，請求書払いも可能です．

クレジットカード決済申込サイト
https://peatix.com/event/5187637

銀行振込先
㈱三菱UFJ銀行　仙台中央支店　普通預金
口座番号　1505249
口座名義
公益社団法人　日本金属学会　関東支部
シヤダンホウジン ニツポンキンゾクガツカイ カントウシブ

問合せ先
〒152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1 南8号館312号室
東京科学大学物質理工学院材料系林研究室内
日本金属学会関東支部事務局　福島宛
E-mail: fukushima.a.9769@m.isct.ac.jp
☎/FAX 03-5734-3141

◇　◇　◇

©2026 The Japan Institute of Metals and Materials

掲示板

〈公募類記事・集会・セミナー・講習会・募集・お知らせ・助成〉
分量：1/4頁(700～800文字)程度.
1.「まてりあ」とホームページに掲載：16,500円
2. ホームページのみ掲載　：11,000円
3. DM(ダイレクトメール)発信のみ　：11,000円
4. 1.2に DM 発信を追加する場合　：5,500円
(公募求人の追加は不可)
〈新刊案内〉会員による出版案内(書誌情報の掲載：無料)
原稿締切・掲載号：毎月１日締切で翌月号１回掲載.
原稿提出先：E-mail : materia@jimm.jp
提出方法：電子メール(受け取りメールの確認をして下さい)

公　募

◇東北大学大学院工学研究科教員公募◇

公募人員　准教授　１名
所　　属　知能デバイス材料学専攻 情報デバイス材料学講座 マグネトデバイス材料学分野(仮称・新設予定)
専門分野　金属・セラミックス・半導体・高分子などの磁気機能を基礎として，それら材料とデバイスの特性向上や新機能の開拓に関する教育と研究を行う.
応募資格　博士の学位を有し，当該分野の研究・教育に意欲があり，日本語と英語で講義のできる方
担当授業科目　「学部」：磁性材料学，電磁気学，物性学基礎，材料科学総合学実験，材料科学総合学基盤研修，材料科学総合学卒業研修等　「大学院」：(前期)応用磁性材料学，知能デバイス材料学修士研修等，(後期)知能デバイス材料学博士研修等
任　　期　なし
公募締切　2027年１月４日(月)17：00
着任時期　2027年４月１日以降，できるだけ早い時期
提出書類　⑴履歴書，⑵学位論文題目，⑶研究業績概要(A4版２頁以内)，⑷主要論文５編の別刷り(コピー可)，⑸研究業績リスト：学術論文，参考論文，著書，特許(出願件数：申請中を含む，登録件数，主要特許10件前後のリスト(特許出願・公開・公告 No，発明者氏名，発明題目))等，⑹獲得外部研究資金(科研費等)一覧(大学や公的研究機関所属の場合)，⑺受賞，⑻招待講演等，⑼教育業績(担当科目等)，⑽所属学会，⑾学会活動歴(委員会等)，⑿研究活動，⒀社会活動等に関する一覧表，⒁今後の研究計画(A4版２頁以内)，⒂教育活動に関する抱負(A4版２頁以内)，⒃照会可能な方２名の氏名と連絡先(住所，電話，E-mail)，⒄応募者の連絡先(住所，電話，E-mail)，⒅応募者の研究業績等に関するデータベースのURL(Scopus, KAKEN 等)
書類送付先　東北大学大学院工学研究科 マテリアル・開発系長　及川勝成
E-mail: depthead.material@grp.tohoku.ac.jp
問 合 先　東北大学大学院工学研究科 知能デバイス材料学専攻長　吉見享祐
☎・FAX 022-795-7324
E-mail: kyosuke.yoshimi.d1@tohoku.ac.jp
※件名を「教員公募書類(知能デバイス材料学専攻 情報デバイス材料学講座　マグネトデバイス材料学分野 准教授)」として電子メールで送付して下さい.
※詳細：
https://www.material.tohoku.ac.jp/media/files/_u/topic/file/2o2h0xodtx.pdf

---

◇核融合科学研究所研究教育職員　公募◇

公募人員　⑴位相空間乱流ユニット助教　１名
⑵プラズマ・複相間輸送ユニット助教　１名
所　　属　研究部
研究・業務内容　詳細は各人事公募を確認すること.
希望事項　詳細は各人事公募を確認すること.
応募締切　2027年１月13日(水)17時(エントリー期限)
就任時期　2027年４月１日(予定)
提出書類　詳細は各人事公募を確認すること.
⑴履歴書
⑵これまでの研究内容
⑶就任後の抱負
⑷研究業績リスト
⑸論文別刷
⑹添付する論文別刷の概要と本人の貢献を記載した文書
⑺推薦書
提 出 先　詳細は各人事公募を確認すること.
問合せ先　核融合科学研究所管理部総務企画課人事係
☎ 0572-58-2013　E-mail: nifs-jinji@nifs.ac.jp
詳細については本研究所に掲載した各人事公募をご覧下さい.
URL　https://www.nifs.ac.jp/jinji/index.html

集　会

◇レアメタル研究会◇

■**主　　催**　レアメタル研究会
■**主 宰 者**　東京大学生産技術研究所　教授　岡部　徹
■**協　　力**　(一財)生産技術研究奨励会(特別研究会 RC-40)
■**共　　催**　東京大学マテリアル工学セミナー
レアメタルの環境調和型リサイクル技術の開発研究会
東京大学生産技術研究所 持続型材料エネルギーインテグレーション研究センター
東京大学生産技術研究所 非鉄金属資源循環工学寄付研究部門(JX 金属寄付ユニット)
■**協　　賛**　(公社)日本金属学会　他
■**開催会場**　東京大学生産技術研究所
An 棟 2F コンベンションホール　他

©2026 The Japan Institute of Metals and Materials

〒153-8505 目黒区駒場 4-6-1
（最寄り駅：駒場東大前，東北沢，代々木上原）

■参加登録・問い合わせ　岡部研究室　宮嵜智子
参加登録 E-mail: okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp
問い合わせ E-mail: tmiya@iis.u-tokyo.ac.jp

令和8年度　レアメタル研究会のご案内

（2026.10.5現在）

■第123回　2026年11月6日（金）14：00～
An 棟 2F コンベンションホール
★チタンシンポジウム（第10回）★（合同開催）
リアル講演会＋講演のネット配信（Zoom Webinar & YouTube）のハイブリッド研究会
テーマ：チタンの現状と未来
午後2：00～　講演【敬称略】
★プログラムの順番等は変更する可能性があります★
- 東邦チタニウムと JX 金属（旧・日本鉱業）（40分）
  東邦チタニウム株式会社　代表取締役社長　百野　修
- 航空機用チタン合金の鍛造技術の現状と将来展望（仮）（40分）
  株式会社神戸製鋼所　チタンユニット　チタン工場　技術部　部長　百田悠介
- チタンの軽元素メタラジー（40分）
  東北大学大学院　工学研究科　材料システム工学専攻　教授　成島尚之
- チタン研究の最近の進歩（仮）（40分）
  東京大学　生産技術研究所　教授　岡部　徹
- クロール法における生産性向上と品質の追求（仮）（40分）
  株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ　技術部長　兼 DX 推進部長　山本慎也

午後6：00～研究交流会・意見交換会
@An 棟 2F ホワイエ＋チタンシンポ，第10回開催記念祝賀会

■第124回　2027年1月8日（金）13：00～
An 棟 2F コンベンションホール
【オンライン配信（Zoom Webinar, YouTube など）は行わない予定です】
★貴金属シンポジウム（第14回）＋新年会★（合同開催）
テーマ：貴金属の精錬・リサイクル
午後1：00～　講演【敬称略】
★プログラムの順番等は変更する可能性があります★
- 銀について（50分）
  東京大学生産技術研究所　非鉄金属資源循環工学寄付研究部門　特任教授　黒川晴正
- JX 金属グループの LiB リサイクルへの取り組み（Li 回収プロセス）（仮）（30分）
  JX 金属サーキューラーソリューションズ株式会社　吉村　昭
- 半導体を支えるボンディングワイヤ―貴金属を活かす接合材料技術―（仮）（30分）
  田中電子工業株式会社　三上道孝
- 金製錬における乾式分離技術について（30分）
  アサヒプリテック株式会社　池田幸択
- 貴金属含有量が少ない電源系廃電子基板リサイクルへの取組みのご紹介（仮）（30分）
  株式会社アステック入江　高橋宏幸
- YAMAKIN における貴金属精錬プロセスの現状と今後の技術展開（30分）
  YAMAKIN 株式会社　森本太郎
- PGM 合金の溶解と分離に関する現状と課題（仮）（30分）
  石福金属興業株式会社　松山　聡
- ポスター発表者によるショートプレゼンテーション

午後6：00～研究交流会・意見交換会
@An 棟 2F ホワイエ＋貴金属シンポ，新年会

■第125回　2027年3月12日（金）14：00～
東京大学・本郷・伊藤国際学術研究センター伊藤謝恩ホール
リアル講演会＋講演のネット配信（Zoom Webinar & YouTube）のハイブリッド研究会
テーマ：朱鴻民教授が熱く語る特別シンポジウム＋慰労会★（合同開催）
午後2：00～　講演【敬称略】
★プログラムの順番等は変更する可能性があります★
- Electrochemical refining for high-purity titanium（仮）（30分）
  北京科技大学（University of Science and Technology Beijing）教授　Prof. Jiao Shuqiang　焦树强
- 巨人の肩に乗る（仮）（30分）
  北京科技大学（University of Science and Technology Beijing）教授　Prof. Lu Xin　卢　鑫
- 朱鴻民先生のもとで学び（仮）（30分）
  東北大学大学院工学研究科　教授　竹田　修
- 朱先生との思い出（仮）（20分）
  東京大学　生産技術研究所　教授　岡部　徹
- 溶融塩とレアメタル（仮）（60分）
  東北大学大学院　工学研究科　教授　朱　鴻民

午後6：00～研究交流会・意見交換会
@伊藤国際学術研究センターホワイエ＋朱教授ご退職お祝いの会

レアメタル研究会ホームページ
https://www.okabe.iis.u-tokyo.ac.jp/japanese/rc40_j.html

◇　◇　◇

©2026 The Japan Institute of Metals and Materials

日本金属学会誌掲載論文
Vol. 90, No. 11 (2026)

——論　　文——

降温MDFによるZK60Mg合金の結晶粒超微細化と機械的特性の調査
大場　洋次郎, 名和田　一理, 小林　正和, 三浦　博己

銅電析におけるチオ尿素添加効果の経時変化
佐藤　璃玖, 大上　悟, 中野　博昭

——技 術 論 文——

材料組織画像に対する機械学習を用いたフェライト粒径評価
山田　健人, 大野　稜乃丞, 村瀬　博典

Materials Transactions 掲載論文
Vol. 67, No. 11 (2026)

——*Overview*——

Integration of Core Technologies for Vibration Energy Harvesting Using Ferromagnetic Iron Alloys
Shigeru Suzuki, Takenori Tanno, Masaki Chiba, Maho Abe, Hisanori Tanimoto, Shigeo Sato, Shuichiro Hashi and Kazushi Ishiyama

——*Regular Article*——

Materials Physics

Low-Temperature Growth of Iron Silicide Thin Films on Silicon Substrate by Molecular Beam Epitaxy
Thi Kim Hang Pham, Thi Hang Nguyen, Van-Qui Le and Hai Dang Ngo

Effect of Nitrogen Doping on Leakage Current in Tantalum Capacitors
Yuki Ikeda, Pramoad Eingdilogsakul and Peerawit Darote

Effect of Two-Step Aging on the Microstructure, Mechanical Properties, and Stress Corrosion Cracking Resistance of Ti- and Zr-Containing Al–Zn–Mg Alloys
Wanlalak Sanphiboon, Taiki Tsuchiya, Seungwon Lee, Abrar Ahmed, Susumu Ikeno, Tomoo Yoshida, Hiroaki Matsui and Kenji Matsuda

Microstructure of Materials

Strength–Ductility Synergy in a Near-α Titanium Alloy via an α-Based Bimodal Microstructure Formed Solely by Heat Treatment
Tatsuaki Sakamoto, Mina Hamada and Hiromichi Takebe

Visualization of Soil Particle Pore after Infiltration of Slurry with Different Properties Using X-ray Micro-CT
Haruto Hori, Hijiri Ueda and Ryunosuke Kido

Microstructure and Mechanical Properties of Cu-Zn System Alloy Bars Produced by Different Groove Rolling Processes
Yui Yasukawa, Yuito Maeda, Hailun Zhou, Norimitsu Koga, Chihiro Watanabe and Hiromi Miura

Synthesis and Structural Analysis of Four Y-Ti-O Oxide Phases Prepared by Solid-State Reaction
Yi Han, Zongda Yang, Huilong Yang, Sho Kano, Yosuke Nishimura, Zhenbo Zhu, Liying Yao and Hiroaki Abe

Materials Chemistry

Production of Calcium Tungstate by Corrosion Reaction Synthesis
Daichi Sasaki and Risa Ito

Investigations of the Surface Characteristics and Bacterial Adhesion Properties of Thermally-Oxidized Polyacrylonitrile-Based Carbon Fiber for Novel Applications in CFRP Recycling
Mitsuhiro Hirano, Ryota Kobayashi, Kota Sakamoto, Shinya Matsuda and Naofumi Ohtsu

Effect of Electrolytic Factors on the Electrodeposition Behavior and Microstructure of Zn-V Composite Films from Non-Suspension Solutions
Ryota Kawashima, Satoshi Oue and Hiroaki Nakano

Materials Processing

Effect of Mechanical Alloying Time on CoCrFeNi-Ti High-Entropy Sintered Alloys
Akito Fujii and Akio Nishimoto

Molecular Dynamics Simulation of Excessive Vacancy Formation in Rapidly Solidified Al–Cu and Fe–Cr Alloys
Tomoya Yazawa, Yasushi Shibuta and Munekazu Ohno

Influence of Annealing Conditions on Formability in Dissimilarly Oriented A1050P-O Tailored Blanks Welded by Friction Stir Welding
Shaoqin Li, Jianchen Jin, Hiromu Sakamoto and Takashi Iizuka

Melting and Solidification Behaviors of Titanium Nano-Particles: Comparison between Two Molecular Dynamics Models
Yoichi Takagishi, Toshi-Taka Ikeshoji and Akihiko Chiba

Engineering Materials and Their Applications

Atmospheric Corrosion of Friction Stir Welded AXM410 and AZX912 Magnesium Alloys
Isao Nakatsugawa, Tomoko Yamashita, Takashi Nishikawa, Noriyuki Fukuda and Ryoichi Furushima

Effect of Residual Strain Induced by Mg_2Si on the Nucleation Density of MgH_2 in As-Cast Mg-Si Alloys
Ryota Kondo, Takanao Kitaura and Hiroyuki T. Takeshita

——*Rapid Publication*——

Static Recrystallization and Nucleation Behavior in Copper Tricrystal
Yojiro Oba and Hiromi Miura

Announcement

©2026 The Japan Institute of Metals and Materials

行　事　カ　レ　ン　ダ　ー

太字本会主催（ホームページ掲載）

開催日	名称・開催地・掲載号	主催	問合先	締切
2026年11月				
1 ～ 6	【lead-Zinc 2026】11th International Symposium on Lead and Zinc Processing　第11回鉛-亜鉛製錬に関する国際シンポジウム（仙台）	資源・素材学会	TEL 03-3402-0541 lead-zinc2026@mmij.or.jp	
2 ～30	**オンデマンド配信：オンライン教育講座「耐熱材料」（本号813頁）**	**日本金属学会**	**TEL 022-223-3685　meeting@jimm.jp https://jimm.jp/event/online**	**11.9**
4 ～ 6	第51回コロージョン・セミナー（岡山）	腐食防食学会	TEL 03-3815-1161 naito-113-0033@jcorr.or.jp https://www.jcorr.or.jp/yotei/51corr.html	10.26
5	**第23回ヤングメタラジスト研究交流会（千葉）（本号743頁）**	**関東支部**	**sh-higuchi@jfe-steel.co.jp matsumura.r.aa@m.titech.ac.jp**	**参加 10.15**
5	第205回腐食防食シンポジウム（東京理科大）	腐食防食学会	TEL 03-3815-1161 ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp https://www.jcorr.or.jp/yotei/205.html	10.28
5	スマートプロセス学会2026年度学術講演会（大阪）	スマートプロセス学会	TEL 06-6879-8698 sps-office@smartprocess.or.jp	
6, 13, 20, 27, 12.4	粉末冶金の科学講座 1～5（オンライン）	粉体粉末冶金協会	TEL 075-721-3650　info@jspm.or.jp	
6	第54回先端科学セミナー　電気化学のための計算化学入門（中央大）	電気化学会関東支部	kanto_seminar2026_sentan@kanto.electrochem.jp https://kanto.electrochem.jp/pages/notice/seminar/page-seminar_202610.html	10.15
6	第262回西山記念技術講座「実測データに基づいたプロセス制御・計測技術」（大阪＋ハイブリッド）	日本鉄鋼協会	TEL 03-3669-5933　educact@isij.or.jp https://www.isij.or.jp/event/event2026/nishiyama261.html	9.3
6	レアメタル研究会・チタンシンポジウム（東大生産技研/ハイブリット開催）（本号816頁）	レアメタル研究会	TEL 03-5452-6314 okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp https://www.okabe.iis.u-tokyo.ac.jp/japanese/rc40_j.html	
8 ～13	The 12th International Conference on Multiscale Materials Modeling（韓国済州）	KIM（The Korean Institute of Metals and Materials）	TEL ＋82-2-573-6207 secretariat@mmm12.org https://www.mmm12.org/	
9	表面処理技術セミナー「ドライプロセスを中心に基礎から応用まで」第１回 基礎編（東京＋ハイブリッド開催）	日本溶接協会	TEL 03-5823-6324 kanae_omiya@jwes.or.jp https://www-it.jwes.or.jp/	10.19
9 ～11	第37回疲労シンポジウム（伊勢）	日本材料学会	TEL 075-761-5321　jimu@jsms.jp http://fatigue.jsms.jp	
10	公開シンポジウム「大型プロジェクトによるバイオマテリアル研究開発」（神戸）	日本学術会議材料工学委員会・同バイオマテリアル分科会	nakano@mat.eng.osaka-u.ac.jp	
11	第275回塑性加工技術セミナー「金属積層造形プロセスのシミュレーションおよび最適化」（大同大）	日本塑性加工学会	https://www.jstp.jp	50名
11～13	第47回超音波エレクトロニクスの基礎と応用に関するシンポジウム（北九州）	超音波エレクトロニクス協会	TEL 03-3259-0766　steering@use-jp.org https://www.use-jp.org/USE2026/sponsor/index.html	
12	日本工学会2026年度第１回 CPD 協議会公開シンポジウム 工学系人材のキャリア形成と CPD ～DEI と多様なキャリアから考える CPD の未来～（オンライン）	日本工学会 CPD 協議会	TEL 03-6265-0672　eng@jfes.or.jp https://www.jfes.or.jp/	
12～13	第52回腐食防食入門講習会（東京＋ハイブリッド開催）	腐食防食学会	TEL 03-3815-1161 naito-113-0033@jcorr.or.jp https://www.jcorr.or.jp/yotei/52nyumon.html	10.30
12～13	**オンライン教育講座「構造材料の観察・分析技術（1）：バルク組成分析」（本号812頁）**	**日本金属学会**	**TEL 022-223-3685　meeting@jimm.jp https://jimm.jp/event/online**	**11.5**
13	日本希土類学会第44回講演会（横浜）	日本希土類学会	TEL 0857-31-5264　office@kidorui.org https://www.kidorui.org/lecture.html	10.16
13	第454回講習会「モニタリングの基礎講座―加工プロセスのモデル化からデータサイエンスの活用まで」（中央大＋ハイブリッド開催）	精密工学会/精密測定技術振興財団	https://www.jspe.or.jp/custom-event/event-17388/	11.6
13	第28回ミレニアム・サイエンスフォーラム（東京）	ミレニアム・サイエンス・フォーラム	TEL 03-6744-4713　msf@oxinst.com https://www.msforum.jp/	
13～14	第105回塑性加工技術フォーラム「精密プレス加工の最新動向とこれから目指すべき方向性」（長野）	日本塑性加工学会，諏訪圏工業メッセ2026実行委員会	https://www.jstp.jp	75名
13～15	軽金属学会第151回秋期大会（水戸＋ハイブリッド開催）	軽金属学会	https://www.jilm.or.jp/convention/index	
16	腐食防食部門委員会第369回例会（大阪）	日本材料学会	jimu@office.jsms.jp　https://www.jsms.jp	11.6 正午
17	第66回「現場の硬さ試験」講習会（東京都市大）	日本材料試験技術協会	TEL 047-431-7451　gyomu2@ystl.jp	11.10
19	第57回エンジニアリングセラミックスセミナー「機械学習・深層学習を利用した材料研究・開発の最前線―Ⅱ」（東京理科大）	日本セラミックス協会　エンジニアリングセラミックス部会	encera@cersj.org http://www.ceramic.or.jp/bkouon/index_j.html	100名

©2026 The Japan Institute of Metals and Materials

開催日	名称・開催地・掲載号	主催	問合先	締切
19～20	第58回溶融塩化学討論会(東北大)	電気化学会溶融塩委員会	https://msc.electrochem.jp/symposium/symposium.html	
21～23	第47回日本熱物性シンポジウム(東京科学大)	日本熱物性学会	info2026@jstp-symp.org https://jstp-symp.org/symp2026/	
21～23	第62回熱測定討論会(東京科学大)	日本熱測定学会	TEL 03-6310-6831 netsu@mbd.nifty.com https://www.netsu.org	
24～26	第55回結晶成長国内会議(JCCG-55)(北大)	日本結晶成長学会	TEL 070-5047-3339 jccg-55@jacg.jp https://www.jacg.jp/jp/event/2026/jccg-55/index.html	
25	**2026年度 関東支部見学会(相模原)(本号744頁)**	**関東支部**	**https://forms.gle/pKkRcsHDqUfdUUiQ8**	**11.10**
26～27	第197回塑性加工学講座「板材成形の基礎と応用～実践編～」(オンライン)	日本塑性加工学会	https://www.jstp.jp	50名
26～27	2026年度 軽金属基礎技術講座「アルミニウムの製造技術」(掛川)	軽金属学会	TEL 03-3538-0232 jilm-general@jilm.or.jp https://www.jilm.or.jp/	40名
26～27	第59回安全工学研究発表会(山形＋ハイブリッド開催)	安全工学会	TEL 03-6206-2840 jsse-2004@nifty.com https://www.jsse.or.jp/Events	11.4早期参加登録
26～27	第64回高温強度シンポジウム(奈良)	日本材料学会	TEL 075-761-5325 jimu@office.jsms.jp http://www.jsms.jp/	参加10.16
27	エコデザイン・プロダクツ＆サービス2026シンポジウム(EcoDePS2026)(東大)	エコデザイン学会連合	secretariat@ecodenet.com https://ecodenet.com/EcoDePS2026/	11.20
27	第51回溶接学会東部支部 実用溶接講座(見学会＆講演会)(藤沢)	溶接学会東部支部	TEL 044-222-4102 jws_east@jwsc.or.jp	30名 11.3
30～12.28	**オンデマンド配信：オンライン教育講座「医療用無機材料の表面反応」(本号813頁)**	**日本金属学会**	**TEL 022-223-3685 meeting@jimm.jp https://jimm.jp/event/online/**	**12.7**
2026年12月				
2	実用表面分析セミナー2026(神戸大)	日本表面真空学会関西支部	https://jvsskansai.smoosy.atlas.jp/ja/kansai_jitsuyou27	12.1
3	第3回 国際連携を見据えたマグネシウム・チタン若手研究会(オンライン開催)	軽金属学会	TEL 03-3538-0232 jilm-general@jilm.or.jp https://www.jilm.or.jp/	100名
2～4	日本中性子科学会第26回年会(九大)	日本中性子科学会	TEL 092-871-6631(6241) jsns2026@fukuoka-u.ac.jp	
3～4	第41回分析電子顕微鏡討論会(オンライン)	日本顕微鏡学会分析電子顕微鏡分科会	bunseki.touron.41@gmail.com https://sites.google.com/view/bunseki-touron-41/	11.24 150名
3～4	**オンライン教育講座「医療用金属材料の基礎2」(本号812頁)**	**日本金属学会**	**TEL 022-223-3685 meeting@jimm.jp https://jimm.jp/event/online**	**11.26**
3～4	第35回新構造・機能制御と傾斜機能材料シンポジウム(FGMs 2026)(北大)	傾斜機能材料研究会	https://fgms.net/event-info/domestic-symposium/	
4	第106回塑性加工技術フォーラム「塑性加工のライバル技術最前線―次世代車体製造を変えるギガキャスト，接合に学ぶ次の一手―」(東京)	日本塑性加工学会・日本鍛圧機械工業会	https://www.jstp.jp/	60名
4～5	第37回信頼性シンポジウム―安心・安全を支える信頼性工学の新展開(愛媛大)	日本材料学会	https://www.jsms.jp	講演9.18
7	表面処理技術セミナー「ドライプロセスを中心に基礎から応用まで」第2回 応用編(東京＋ハイブリッド開催)	日本溶接協会	TEL 03-5823-6324 kanae_omiya@jwes.or.jp https://www-it.jwes.or.jp/	11.16
8～9	第32回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」シンポジウム(Mate2026)(横浜)	スマートプロセス学会他	TEL 06-4798-2078 mate@glm-p.com https://sps-mste.jp/mate/	6.30
8～25	精密工学会第455回講習会「ものづくり×フィジカルAIの基礎・産業応用・展望 ～オートメーションから知能化，そしてフィジカルAIへ～」(オンライン)	精密工学会	https://www.jspe.or.jp/custom-event/event-17731/	12.23
11	第138回シンポジウム「メガ・ギガキャストと接合技術の最先端」(日本大)	軽金属学会	TEL 03-3538-0232 https://www.jilm.or.jp/symposium/view?id＝149	200名
11	**2026年度日本金属学会関東支部講習会『船舶・造船の未来を支える材料技術(東京科学大(本号815頁)**	**日本金属学会関東支部**	**TEL 03-5734-3141 fukushima.a.9769@m.isct.ac.jp https://forms.gle/xkWTnMBQErhRPvps9**	**11.30**
11	第28回生体関連セラミックス討論会(名工大)	日本セラミックス協会生体関連材料部会	https://www.ceramic.or.jp/	80名
11	関西支部第39回塑性加工基礎講座「入門 結晶塑性シミュレーション(実習付き)」(京都大＋ハイブリッド開催)	日本塑性加工学会関西支部	kansai@jstp.or.jp	11.27
14	2026年度 軽金属セミナー「アルミニウム合金の組織―入門編(状態図と組織)」(東京＋ハイブリッド開催)	軽金属学会	TEL 03-3538-0232 https://www.jilm.or.jp/page-event09	11.30
14～16	第52回固体イオニクス討論会(九州)	固体イオニクス学会	TEL 022-217-5341 ssij@ssj-j.org https://www.ssi-j.org/symp/ssij52/	事前10.30

©2026 The Japan Institute of Metals and Materials

開催日	名称・開催地・掲載号	主催	問合先	締切
16〜17	第23回ノートパソコンで出来る原子レベルのシミュレーション入門講習会(京都＋ハイブリッド開催)	日本材料学会	TEL 075-761-5321 jimu@office.jsms.jp https://www.jsms.jp/	11.27 30名
19〜21	2026年度 JCOM 若手シンポジウム(甲州)	日本材料学会	JCOM2026wakate@jsms.jp	30名
2027年 1 月				
7 〜2.4	**オンデマンド配信：オンライン教育講座「金属材料の耐環境性⑶水素脆化と水素検出・計測技術」(本号810頁)**	**日本金属学会**	**TEL 022-223-3685 meeting@jimm.jp https://jimm.jp/event/online/**	**1.14**
8	レアメタル研究会・貴金属シンポジウム(東大生産技研)(本号817頁)	レアメタル研究会	TEL 03-5452-6314 okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp https://www.okabe.iis.u-tokyo.ac.jp/japanese/rc40_j.html	
12〜13	第65回セラミックス基礎科学討論会(大阪)	日本セラミックス協会基礎科学部会	https://basic-science-symposium.award-con.com/congress/6/	
19〜20	第34回超音波による非破壊評価シンポジウム(東京)	日本非破壊検査協会超音波部門	TEL 03-5609-4015 beppu@jsndi.or.jp https://sciences.jsndi.jp/ultrasonic/studygroup/symposium	
22	粉末冶金実用・応用講座(京都＋ハイブリッド開催)	粉体粉末冶金協会	TEL 075-721-3650 info@jspm.or.jp	1.12
2027年 3 月				
2 〜 4	2026年度量子ビームサイエンスフェスタ 第18回 MLF シンポジウム，第44回 PF シンポジウム(つくば)	高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所，J-PARCセンター，総合科学研究機構(CROSS)，PFユーザーアソシエイション(PF-UA)，J-PARC MLF 利用者懇談会	qbsf2026-office@ml.post.kek.jp https://www2.kek.jp/imss/qbsf/2026/	
4	2026年度 軽金属セミナー「アルミニウム合金の組織―中級編(時効析出)」(東京＋ハイブリッド開催)	軽金属学会	TEL 03-3538-0232 https://www.jilm.or.jp/page-event09	2.25
8 〜10	**日本金属学会春期講演大会(東京科学大学大岡山キャンパス)**	**日本金属学会**	**TEL 022-223-3685 annualm@jimm.jp**	**講演12.22 参加事前 12.19**
12	レアメタル研究会(東大生産技研/ハイブリット開催)(本号817頁)	レアメタル研究会	TEL 03-5452-6314 okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp https://www.okabe.iis.u-tokyo.ac.jp/japanese/rc40_j.html	
16	2026年度 軽金属セミナー「アルミニウム合金の組織―応用編(加工・熱処理による組織変化)」(東京＋ハイブリッド開催)	軽金属学会	TEL 03-3538-0232 https://www.jilm.or.jp/page-event09	3.8
17〜19	2027年塑性加工春季講演会(日大)	日本塑性加工学会	TEL 03-3435-8301 http://www.jstp.or.jp	
2027年 6 月				
14〜18	第11回世界製鉄会議(ICSTI 2027)(札幌)	日本鉄鋼協会	TEL 011-272-2151 icsti2027@c-linkage.co.jp https://www.icsti2027.com/	
2027年 7 月				
7 〜 9	第64回アイソトープ・放射線研究発表会(東京)	日本アイソトープ協会	TEL 03-5395-8081 happyokai@jrias.or.jp https://pub.confit.atlas.jp/ja/event/jrias2027/content/summary	
2027年 9 月				
22〜24	**日本金属学会秋期講演大会(広島大学東広島キャンパス)**	**日本金属学会**	**TEL 022-223-3687 annualm@jimm.jp**	

◇　　◇　　◇

まてりあ第65巻12号　予告

［最近の研究］構造用金属における水素-転位および水素-変態相互作用の利活用の可能性 ……東北大　小山元道

［最近の研究］転位だけでは説明できない加工硬化―結晶粒間の変形拘束と内部応力の役割 ……北見工大　河野義樹

［入 門 講 座］永久磁石材料学の諸要素　第 8 回　永久磁石の組織形成プロセスと熱力学(その 2) ……フェロー　広沢　哲

［実 学 講 座］「金属材料実験の手引き」3.　ケーススタディ　金属材料の作製と調製

3-2　銅合金における組織解析のテクニックとコツ……島根大　千星　聡

―他―

編集の都合により変更になる場合がございます.

©2026 The Japan Institute of Metals and Materials